

数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル) 申請様式

① 学校名	関西学院大学				
② 大学等の設置者	学校法人 関西学院				
③ 設置形態	私立大学				
④ 所在地	兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155				
⑤ 申請するプログラム又は授業科目名称	AI活用人材育成プログラム(プラクティショナーコース)				
⑥ プログラムの開設年度	令和元年度				
⑦ 教員数	(常勤)	696	人		
	(非常勤)	1,069	人		
⑧ プログラムの授業を教えている教員数		4	人		
⑨ 全学部・学科の入学定員		5,700	人		
⑩ 全学部・学科の学生数(学年別)	総数	23,885	人		
1年次	5,790	人	2年次	5,489	人
3年次	5,578	人	4年次	7,028	人
5年次	0	人	6年次	0	人
⑪ プログラムの運営責任者	(責任者名)	已波 弘佳	(役職名)	関西学院大学学長補佐	
⑫ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)	全学AI活用人材教育部会				
	(責任者名)	已波 弘佳	(役職名)	全学AI活用人材教育部会長	
⑬ プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)	全学AI活用人材教育部会				
	(責任者名)	已波 弘佳	(役職名)	全学AI活用人材教育部会長	
⑭ 申請する認定プログラム	認定教育プログラムと認定教育プログラム+(プラス)				

連絡先

所属部署名	総合企画部	担当者名	皿谷 敦
E-mail	saraya@kwansei.ac.jp	電話番号	0798-54-6883

学校名：関西学院大学

プログラムを構成する授業科目について

① 教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違しない

② 具体的な修了要件

【令和元年度以降】

プログラムを構成する下記-9科目合計18単位 **7科目合計14単位**を取得すること。

③ 授業科目名称

授業科目名称		授業科目名称	
1	AI活用入門	26	
2	AI活用導入演習A AI活用アプリケーションデザイン入門	27	
3	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン実践演習	28	
4	AI活用実践演習A(JavaによるWebアプリケーションデザイン)	29	
5	AI活用実践演習B(Pythonによる機械学習・深層学習)	30	
6	AI活用実践演習C(Webデザイン) AI活用UX/UIデザインプログラミング演習	31	
7	AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ AI活用データサイエンス入門	32	
8	AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ AI活用データサイエンス実践演習	33	
9	AI活用発展演習Ⅰ	34	
10		35	
11		36	
12		37	
13		38	
14		39	
15		40	
16		41	
17		42	
18		43	
19		44	
20		45	
21		46	
22		47	
23		48	
24		49	
25		50	

学校名：関西学院大学

プログラムの授業内容・概要

① プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「導入」、「基礎」、「心得」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業概要	
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている ※モデルカリキュラム導入1-1、導入1-6が該当	AI活用人材とは、AI・データサイエンス関連の知識を持ち、それを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材と定義し、特に「AI活用入門」では、AI活用人材として社会で活躍するための基礎的な知識を修得することを目的とする。 人工知能の歴史を紐解きながら、第4次産業革命、Society5.0において、AI、ビッグデータ、IoTなどが鍵となってAIやデータサイエンスの重要性が高まっていること(モデルカリキュラム導入1-1に該当)、またそれを活用できるAI活用人材の必要性を学ぶとともに、様々なAI技術とその応用例に触れることで、日常生活に密着していることを学ぶ(モデルカリキュラム導入1-6に該当)。	
	授業科目名称	講義テーマ
	AI活用入門	第4次産業革命、Society5.0において、AIやデータサイエンスの重要性とAI活用人材の必要性(第2回)
	AI活用入門	生成AI含む人工知能の歴史と必要性(第3回)
	AI活用入門	AI技術とそれらのビジネスへの様々な活用事例を学ぶ(第4回)

(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの ※モデルカリキュラム導入1-2、導入1-3が該当	授業概要	
	調査データ、実験データ、人の行動ログデータ、IoTのログデータ、文章・画像/動画・音声/音楽など、様々な構造化データ・非構造化データがあり、それらを取り扱うための様々な技術について学び(モデルカリキュラム導入1-2に該当)、製造・物流・販売・マーケティング・サービスなど様々な分野で、仮説検証・知識発見・原因究明・計画策定・判断支援・活動代替・新規生成などでそれらが活用されている事例を学ぶ(モデルカリキュラム導入1-3、1-5に該当)。	
	授業科目名称	講義テーマ
	AI活用入門	AI技術とそれらのビジネスへの様々な活用事例を学ぶ(第4回)
	AI活用入門	APIを用いたAIアプリ開発の概要を学ぶ(第5~7回)
	AI活用入門	データサイエンスを活用した課題解決を学ぶ(第6 10 回)
	AI活用入門	統計解析の基礎である、数学・統計の基礎知識を学ぶ(第7 11 回)
	AI活用導入演習A AI活用アプリケーションデザイン入門	言語解析系のAI技術と、APIを活用した様々な事例を学ぶ(第1~6回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	音声認識系のAI技術を学ぶ(第1 7 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	音声認識系のAIの活用事例を学ぶ(第4 8,9 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	画像/動画認識系のAI技術を学ぶ(第6 10,13 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	画像/動画認識系のAIの活用事例を学ぶ(第8 11,12 回)
	AI活用データサイエンス実践演習I AI活用データサイエンス入門	データサイエンスの重要性を理解し、統計解析の基礎概念とその活用事例を学ぶ(第1~4 9回)

(3)様々なデータ利 活用の現場におけ るデータ利活用事 例が示され、様々な 適用領域(流通、製 造、金融、サービ ス、インフラ、公共 、ヘルスケア等)の知 見と組み合わせるこ とで価値を創出する もの ※モデルカリキュラ ム導入1-4、導入 1-5が該当	授業概要 様々なAIやデータサイエンスに関する技術を学ぶ。具体的には、深層学習を含む機械学習、探索、ルールベース、強化学習などのアルゴリズムの考え方など、予測・クラスタリング・パターン発見や、言語・画像/動画・音声/音楽など非構造化データの処理のための技術や、CRISP-DMなどデータ分析プロセスを学ぶ(モデルカリキュラム導入1-4に該当)。また、流通・製造・金融・サービス・インフラ・公共・ヘルスケアなどでAIやデータサイエンスが活用されている事例を学ぶ(モデルカリキュラム導入1-5、1-3に該当)。	
	授業科目名称	講義テーマ
	AI活用入門	AI技術とそれらのビジネスへの様々な活用事例を学ぶ(第4回)
	AI活用入門	APIを用いたAIアプリ開発の概要を学ぶ(第5~7回)
	AI活用入門	データサイエンスを活用した課題解決を学ぶ(第6 10 回)
	AI活用入門	統計解析の基礎である、数学・統計の基礎知識を学ぶ(第7 11 回)
	AI活用入門	統計解析の分析ツールを学ぶ(第8 12 回)
	AI活用導入演習A AI活用アプリケーションデザイン入門	言語解析系のAI技術と、APIを活用した様々な事例を学ぶ(第1~6回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	音声認識系のAI技術を学ぶ(第4 7 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	音声認識系のAIの活用事例を学ぶ(第4 8,9 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	画像/動画認識系のAI技術を学ぶ(第6 10,13 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	画像/動画認識系のAIの活用事例を学ぶ(第8 11,12 回)
	AI活用データサイエンス実践演習I AI活用データサイエンス入門	データサイエンスの重要性を理解し、統計解析の基礎概念とその活用事例を学ぶ(第1~4 9回)

(4)活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする ※モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2が該当	授業概要	
	AIやデータサイエンスがビジネスに活用されていることを示した後、それらを活用するために留意すべき事項(個人情報の取り扱いやセキュリティ、データ利用の際に必要なモラルや倫理、情報漏洩リスクとその対策など)について併せて学ぶ(モデルカリキュラム心得3-1、心得3-2に該当)。	
	授業科目名称	講義テーマ
	AI活用入門	AI技術とそれらのビジネスへの様々な活用事例を学ぶ(第4回)

(5)実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの ※モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3が該当	授業概要 深層学習を含む機械学習、探索、ルールベース、強化学習などにおける様々なアルゴリズム、統計解析における様々な概念(平均・分散・相関係数など)や検定など、AIやデータサイエンスにおける概念やアルゴリズムを学び、またそれを活用するためにAPIを用いたAIアプリ開発スキル、Python/Java html,CSS,JavaScript などを用いたプログラミングスキル、統計解析ソフトウェアR/R studioやSPSSスキルも学ぶ(モデルカリキュラム基礎2-1、基礎2-2、基礎2-3に該当)。さらに、これらを総合的に活用できるように問題解決フレームワークや、ソフトウェアを用いた可視化も含む適切な説明手法(モデルカリキュラム基礎2-2に該当)やUI/UXについても学び、PBLによって現実の課題を解決する知識とスキルを修得する。	
	授業科目名称	講義テーマ
	AI活用入門	APIを用いたAIアプリ開発の概要を学ぶ(第5~7回)
	AI活用入門	データサイエンスを活用した課題解決を学ぶ(第6 10 回)
	AI活用入門	統計解析の基礎である、数学・統計の基礎知識を学ぶ(第7 11 回)
	AI活用入門	統計解析の分析ツールを学ぶ(第8 12 回)
	AI活用導入演習A AI活用アプリケーションデザイン入門	言語解析系のAI技術と、APIを活用した様々な事例・技術・開発手法を学ぶ(第1~9 6 回)
	AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門	音声認識系・画像/動画認識系のAI技術と、APIを活用した様々な事例・技術・開発手法を学ぶ(第1~11 7~13回)
	AI活用データサイエンス実践演習I AI活用データサイエンス入門	データサイエンスにおける概念やアルゴリズムを学び、またそれを活用するための統計解析ソフトウェアR/R studioやSPSSスキル、課題を分析するための問題解決フレームワークも学ぶ(第1~11回)
	AI活用データサイエンス実践演習II AI活用データサイエンス実践演習	問題解決フレームワークやデータ分析を通して課題を適切に把握し、それをソフトウェアを用いて分析した結果を適切に可視化しストーリーを構造化して示すための方法について学ぶ(第1~4 10 回)
	AI活用実践演習A(JavaによるWebアプリケーションデザイン)	Webアプリケーションの動作の仕組み、開発のために必要なプログラミング言語Javaの基礎、オブジェクト指向の考え方に基づくシステム開発プロセスやソフトウェアテスト技法を学ぶ(第1回~第12回)
	AI活用実践演習B(Pythonによる機械学習・深層学習)	機械学習や深層学習の仕組みを学ぶ。さらに、プログラミング言語Pythonの基礎を学んで、機械学習や深層学習に関するプログラミングを行う(第1~15回)
	AI活用実践演習C(Webデザイン) AI活用UX/UIデザインプログラミング演習	UI/UXデザインの考え方、デザイン思考の考え方を学ぶ。さらに、HTML、CSS、JavaScriptの基礎を学び、デザイン思考による分析を通してUX/UIも考慮したWebアプリケーションを開発する。さらに、テーマに応じたWebページを開発する(第1~12 13 回)
	AI活用発展演習I	AIを利用したアプリケーションの開発を行ってソリューションを提言するプロジェクト型演習を行う(第1~14回)

② プログラムを構成する授業の内容・概要(数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムの「選択」に相当)

授業に含まれている内容・要素	授業科目名称
統計及び数理基礎	AI活用入門、AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ AI活用データサイエンス入門
アルゴリズム基礎	AI活用入門
データ構造とプログラミング基礎	AI活用入門
時系列データ解析	AI活用入門、AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ AI活用データサイエンス入門
テキスト解析	AI活用入門、AI活用導入演習A AI活用アプリケーションデザイン入門
画像解析	AI活用入門、AI活用導入演習B AI活用アプリケーションデザイン入門、AI活用アプリケーションデザイン実践演習
データハンドリング	AI活用入門、AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ AI活用データサイエンス入門 、AI活用実践演習A(JavaによるWebアプリケーションデザイン)、AI活用実践演習B(Pythonによる機械学習・深層学習)
データ活用実践(教師あり学修)	AI活用入門、AI活用データサイエンス実践演習Ⅰ AI活用データサイエンス入門 、AI活用データサイエンス実践演習Ⅱ AI活用データサイエンス実践演習
その他	AI活用実践演習C(Webデザイン) AI活用UX/UIデザインプログラミング演習 、AI活用発展演習Ⅰ

③ プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

https://www.kwansei.ac.jp/a-affairs/a-affairs_m_004640.html

④ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

1. (AIスキル)AIに関する知識を保持し、実際のアプリケーション開発ができるようになる。
2. (プログラミングスキル)ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークに関する知識を保持し、実際のシステム開発ができるようになる。
3. (プロジェクトマネジメントスキル)IT関連のプロジェクトにおいて、コスト、コミュニケーション、時間、人的資源等の要素を統合的に管理できるようになる。
4. (統計解析スキル:データ分析手法)統計解析に用いられる多様な分析手法に関する知識を保持し、データを意味ある形に加工し、適したツールを選出して統計解析を遂行できるようになる。
5. (統計解析スキル:数学・統計知識)情報処理、統計学などの情報処理系の知識を保持し、活用できるようになる。
6. (ビジネス基礎スキル)コミュニケーション力、論理的思考力、課題解決力といった、業種や業界の垣根を越えて適用する、ポータビリティのある力を身につける。

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面	結果一覧画面	照会画面
--------	--------	------

シラバス情報/Syllabus Information
※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットで案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42950101	開講キャンパス/Campus	オンライン/Online		
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 60 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses	○		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【100】 A I 活用入門 1 /Introduction to AI Solutions				
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring	曜時/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other
担当者/Instructor	巳波 弘佳 (MIWA HIROYOSHI) 、 西野 均 (NISHINO HITOSHI)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1 年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

― 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	オンデマンドB型オンライン授業(時間割なし)/On-demand B(w/o timetable)
特記事項/Special Instruction	＜履修にあたっての留意点＞ 1. 顔認証の目的 本科目のラーニングシステムでは、不正アクセス、及び不正行為を防ぐために顔認証を導入しています。システムによって不正行為の可能性が検知された場合、授業担当者による顔写真の検証が行われます。それ以外の目的で顔写真を確認することや、他の目的に使用することは一切ありません。 2. 顔認証を正確に行うため ログイン時・テスト受験時の顔認証では、下記の例の状態にならないよう考慮してください。 例：顔が遠い、顔が正面を向いていない、顔の一部が覆われている、複数人が写り込んでいる、顔の表面が暗い 3. 各回の講義の受講期限 各回には受講期間が定められています。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがあります。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となりますので注意してください。受講可能な段階で、速やかに修了してください。 4. 小テストや、事前/事後課題を進めるために 小テストには合格基準点があり、合格するまで次に進めません。不合格の場合は、再度テストを受験してください。事前/事後課題は実施していないと、講義本編でのワークが実施できませんので、必ず実施してください。 5. 質問や議論方法 講義内容については、まずはTAチャットボットに聞いてみましょう。講義内容に関する議論は「トークボード」を使いましょう。講義受講に関する質問やシステム/教材不備に関する質問は「お問い合わせ」を利用してください。 6. 本科目の単位修得者にオープンバッジを付与します。付与に際しては氏名とメールアドレスを外部システムに登録する必要がありますので予め承知ください。付与（登録）を希望しない場合は、受講開始後にラーニングシステムの問合せから申し出てください。 ※オープンバッジとはスキル修得を証明するデジタル証明です。修得したオープンバッジは修得者自身によりメール等で共有可能であり、就職活動等のシーンで活用できます。
授業目的/Course Purpose	AI活用に関わる技術、事例、ツール等を幅広く学び、AI活用人材として社会で活躍するための基礎的知識・スキルを活用できるようになることを目的とする。
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge required for AI Solution Architects.
到達目標/Learning Goals	1. 産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識について説明できるようになる。 2. AIを利用したデータ解析に関する基礎知識を理解し、簡単なデータ解析ができるようになる。 3. AIを利用した簡単なアプリケーションを開発できるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to explain social background knowledge such as changes of industrial structure and required skills in the future and basic knowledge of AI technology, 2. an understanding of basic knowledge of data analysis and the ability to conduct basic data analysis, 3. the ability to develop basic applications using AI.
授業の概要・背景/Course Outline	産業構造の変化や今後必要とされるスキルなど社会背景に関する知識、AI技術に関する基礎知識、AIを活用するために必要不可欠なデータサイエンスに関する基礎知識、AIを利用したアプリケーションを開発するための基礎知識を学ぶ。
授業方法 Course Format	オンデマンドB型オンライン授業：バーチャルラーニングにて提供する。つまり履修学生は各自のPCにてオンラインで受講する。各回には小テスト、最後の授業回には総合テストが用意されており、各自オンラインにてテストを受ける。バーチャルラーニングの概要は添付の受講ガイドにて確認すること。 各回には受講期間が定められている。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがある。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となるので注意すること。 授業は専用のラーニングシステムにて配信する。ラーニングシステムのURLは履修者確定後、LUNAに掲載する。また、各回の授業公開日を授業計画欄に記載している。 なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。また、バーチャルラーニングシステムの利用時には顔認証を行うため、Webカメラが必要。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 IoT 機械学習 統計解析 データサイエンス

－ 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第 1 回 Session 1	【14回すべてオンデマンドB型オンライン授業で実施】 【4月11日配信（5月23日公開終了）】 講義ガイダンス 講義の目的と目標、受講方法を理解する。 AIの活用事例などに触れ、意欲的に学習できるようになる。	・受講ガイドを良く読み、バーチャルラーニングでの学び方について理解しておくこと。また、必要なPC環境の設定も行っておくこと。PCやネットワークの基本的な使い方にも慣れておくこと。 ・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。
第 2 回 Session 2	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 第4次産業革命・Society5.0・AIが変える社会 第4次産業革命とSociety5.0に伴う、これからのAI活用人材に必要な基礎スキルについて理解を深め、AI活用人材とはどのような人材かを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 3 回 Session 3	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 AIを活用するビジネス リーディングカンパニー6社(IBM, Microsoft, Google, Amazon, Apple, Meta)や日本企業のAI技術の概要やビジネス事例を学び、AIを活用して課題を解決するとはどういうことか理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 4 回 Session 4	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 AIを支える技術 AIを支える技術を理解し、AIを支える技術の全体像を学ぶ。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 5 回 Session 5	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 AI機能とAPI① 様々なAI機能とそれを使うためのAPI(Application Programming Interface)を理解する。 自然言語処理機能/APIの概要を知り、自然言語処理機能/APIを使って何ができるのかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 6 回 Session 6	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 AI機能とAPI② 音声認識・画像・動画解析機能/APIの概要を知り、音声認識・画像・動画解析機能/APIを使って何ができるのかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 7 回 Session 7	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 AIアプリのシステム開発 ビジュアルプログラミング言語「Node-RED」を用いて、機能/APIを呼び出す方法を理解し、活用可能な知識とスキルを身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 8 回 Session 8	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 機械学習① クラウド上のAI機能をAPIを用いて扱う以外のAIについて学ぶ。ここでは、データから傾向を分析し、将来の予測を行うAIを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 9 回 Session 9	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 機械学習② クラウド上のAI機能をAPIを用いて扱う以外のAIについて学ぶ。ここでは、データから傾向を分析し、将来の予測を行うAIを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 0 回 Session 10	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 AIとデータサイエンス AIとデータサイエンスの関係性を把握し、より深くAIを活用できるようにデータサイエンスの知識とスキルを身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 1 回 Session 11	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 データ分析の基礎 数学・統計知識(分散、標準偏差、相関係数、等)に触れ、情報処理系の知識を活用できるスキルを身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 2 回 Session 12	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 データ分析の実践的活用 回帰分析によって予測を行うAIを理解し、活用可能な知識とスキルを身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 3 回 Session 13	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 システム開発の理解 システムの開発の流れを疑似体験するとともに、顧客・ユーザーの要求を正しく認識し、AIを活用する際のシステム設計の知識を身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 4 回 Session 14	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 講義全体の振り返り 講義全体の知識・スキルの修得を確認するために、総合テストを行う。 講義全体を振り返るとともに、AI活用の最新事例に触れて、AI活用人材になるために必要な知識・スキルについて考察する。	講義全体を振り返り、学んだことを復習すること。
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・ワーク（演習課題）に取り組むこと	

－ 教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	「AI活用入門学習用ガイドブック（日経パソコン）」 本科目の学習内容をダイジェストとして一冊にまとめた、学習を支援するガイドブックです。 購入は任意ですが、ガイドブックを併用することで、より確実な学びとスキルの習得が可能になります。 ※一部更新版のPDFを別途配布いたします。
-----------------------	---

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
---	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	授業中試験／In-class examination (03)	100 %	

添付ファイル1/File Attachment 1	2024春バーチャルラーニング受講ガイド（シラバス掲載版）.pdf	説明1/Explanation 1	バーチャルラーニング受講ガイド
更新日時/Date of Update	2024年05月01日 14時47分28秒		

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期／Spring	集中・その他／Concentration/Other	春学期／Spring	オンライン

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報/Syllabus Information
※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットで案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42951201	開講キャンパス/Campus	オンライン/Online		
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 6 0 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses	○		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【150】 A I 活用アプリケーションデザイン入門 1 /Introduction to Application Design for AI Solutions				
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring	曜時/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other
担当者/Instructor	巳波 弘佳 (MIWA HIROYOSHI) 、 西野 均 (NISHINO HITOSHI)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1 年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

— 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	オンデマンドB型オンライン授業(時間割なし)/On-demand B(w/o timetable)
特記事項/Special Instruction	<履修条件> 「A I 活用入門」の単位を修得済みであることが履修条件となります。 <履修にあたっての留意点> 1. 顔認証の目的 本科目のラーニングシステムでは、不正アクセス、及び不正行為を防ぐために顔認証を導入しています。システムによって不正行為の可能性が検知された場合、授業担当者による顔写真の検証が行われます。それ以外の目的で顔写真を確認することや、他の目的に使用することは一切ありません。 2. 顔認証を正確に行うため ログイン時・テスト受験時の顔認証では、下記の例の状態にならないよう考慮してください。 例：顔が遠い、顔が正面を向いていない、顔の一部が覆われている、複数人が写り込んでいる、顔の表面が暗い 3. 各回の講義の受講期限 各回には受講期間が定められています。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがあります。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となりますので注意してください。受講可能な段階で、速やかに修了してください。 4. 小テストや、事前/事後課題を進めるために 小テストには合格基準点があり、合格するまで次に進めません。不合格の場合は、再度テストを受験してください。事前/事後課題は実施していないと、講義本編でのワークが実施できませんので、必ず実施してください。 5. 質問や議論方法 講義内容については、まずはTAチャットボットに聞いてみましょう。講義内容に関する議論は「トークボード」を使いましょう。講義受講に関する質問やシステム/教材不備に関する質問は「お問い合わせ」を利用してください。 6. 本科目の単位修得者にオープンバッジを付与します。付与に際しては氏名とメールアドレスを外部システムに登録する必要がありますので予め承知ください。 付与（登録）を希望しない場合は、受講開始後にラーニングシステムの問合せから申し出てください。 ※オープンバッジとはスキル修得を証明するデジタル証明です。修得したオープンバッジは修得者自身によりメール等で共有可能であり、就職活動等のシーンで活用できます。
授業目的/Course Purpose	AIの各機能（言語、画像、音声等）の技術・活用事例・利用法を学び、それらを実際のビジネス現場で活用できるようになるための基本的な知識とスキルを修得することを目的とする。
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge and skills related to AI technologies such as natural language analytics, voice recognition, and visual recognition technologies for AI applications.
到達目標/Learning Goals	・言語、音声、画像系のAIの仕組みを理解し、説明できるようになる。 ・言語、音声、画像系APIの利用方法を理解し、それらを用いて簡単なAIアプリケーションを開発できるようになる。 ・AIを活用した事例やAIシステム実装過程を理解し、ビジネスへの活用方法を提案できるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to explain technologies related to natural language analytics, voice recognition, and visual recognition, 2. knowledge and skills related to AI application development using natural language analytics, voice recognition, and visual recognition, 3. knowledge of actual AI applications, knowledge on the implementation of AI applications, and the ability to propose AI applications for business.
授業の概要・背景/Course Outline	自然言語処理、音声認識、画像/動画解析のAI技術、クラウド上のAI機能を利用するためのAPI(Application Programming Interface)を学び、ビジネスにおけるAIアプリの活用法を提案するための知識とスキルを修得する。
授業方法 Course Format	オンデマンドB型オンライン授業：バーチャルラーニングにて提供する。つまり履修学生は各自のPCにてオンラインで受講する。各回には小テスト、最後の授業回には総合テストが用意されており、各自オンラインにてテストを受ける。バーチャルラーニングの概要は添付の受講ガイドにて確認すること。 各回には受講期間が定められている。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがある。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となるので注意すること。 授業は専用のラーニングシステムにて配信する。ラーニングシステムのURLは履修者確定後、LUNAに掲載する。また、各回の授業公開日を授業計画欄に記載している。

	なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。また、バーチャルラーニングシステムの利用時には顔認証を行うため、Webカメラが必要。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 IoT 機械学習 統計解析 データサイエンス 自然言語処理

☐ 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第 1 回 Session 1	【14回すべてオンデマンドB型オンライン授業で実施】 【4月11日配信（5月23日公開終了）】 AIの基礎・自然言語処理技術とは AI・機械学習・深層学習・生成AI・APIとは何かを理解する。 自然言語処理技術とは何かとその仕組みを理解する。 自然言語処理技術を使って実現できることを把握する。	・受講ガイドを良く読み、バーチャルラーニングでの学び方について理解しておくこと。また、必要なPC環境の設定も行っておくこと。 ・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 2 回 Session 2	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 自然言語処理と深層学習・形態素解析系ツールの紹介・テキスト分析機能/APIの紹介① 形態素解析系ツールは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 テキスト分析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 3 回 Session 3	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 テキスト分析機能/API・ツールの紹介②・テキスト分析機能体験 テキスト分析機能/API・ツールは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 テキスト分析機能/API・ツールについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。 テキストマイニングとは何か理解し、何を実現できるかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 4 回 Session 4	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 テキスト分析機能/APIの紹介③ 短文意図分類やテキスト読解補助の機能・ツールについて理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 5 回 Session 5	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 質問応答機能/APIの紹介・質問応答機能体験① 質問応答機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 質問応答機能/APIを使用し作成したチャットボットの長所/短所を理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 6 回 Session 6	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 機械翻訳機能/APIの紹介・自然言語処理の活用事例・大規模言語 デルと生成AIについて理解する。 機械翻訳機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 自然言語処理とVoC/IoTを組み合わせることで実現できることを把握する。 大規模言語 デルと生成AIについてについて理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 7 回 Session 7	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 音声認識技術とは 音声認識技術とは何かとその仕組みを理解する。 音声認識技術を使って実現できることを把握する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 8 回 Session 8	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 音声認識機能/APIの紹介・音声認識機能体験① 音声認識機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 音声認識機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 9 回 Session 9	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 音声認識機能体験②・音声認識機能/APIの紹介・音声合成機能/APIの紹介 音声認識機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。 音声認識機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 音声合成機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 0 回 Session 10	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 画像解析技術とは 画像解析技術とは何かとその仕組みを理解する。 画像解析技術を使って実現できることを把握する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 1 回 Session 11	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 画像解析機能/APIの紹介・画像解析機能体験	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。

	画像解析処理に使用されている深層学習のモデルの仕組みを理解する。 画像解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 画像解析機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。	
第 1 2 回 Session 12	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 画像解析機能/APIの紹介・活用事例・動画解析技術とは 画像解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 画像解析とIoTを組み合わせて実現できることを把握する。 動画解析技術とは何かを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 3 回 Session 13	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 動画解析技術の仕組み・動画解析機能/APIの紹介・活用事例 動画解析技術の仕組みを理解する。 動画解析技術を使って実現できることを把握する。 動画解析機能/APIは、どのような機能を持ち、何を実現できるかを理解する。 動画解析機能/APIについて、簡単な操作方法を理解し、実現できることを把握する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解いてみること。
第 1 4 回 Session 14	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 AIを活用した最新ソリューション事例・AIシステム実装過程の紹介 AIを活用した最新のソリューション事例を把握する。 AIシステム実装過程を理解する。 実際のAIシステム実装における進め方や具体的なタスクを理解する。	講義全体を振り返り、学んだことを復習すること。
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・ワーク（演習課題）に取り組むこと	

教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.	
教科書 Required texts	特に指定しない

参考文献・資料 Reference books	特に指定しない
----------------------------	---------

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
---	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	授業中試験／In-class examination (03)	100 %	

添付ファイル1/File Attachment 1	2024春バーチャルラーニング受講ガイド（シラバス掲載版）.pdf	説明1/Explanation 1	バーチャルラーニング受講ガイド
更新日時/Date of Update	2024年05月01日 14時47分51秒		

教室情報/Classroom Information					
項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期／Spring	集中・その他／Concentration/Other	春学期／Spring	オンライン

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面	結果一覧画面	照会画面
--------	--------	------

シラバス情報/Syllabus Information

※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットで案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42951302	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus					
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 60 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses						
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs							
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【250】 A I 活用アプリケーションデザイン実践演習 2／Practical Application Design for AI Solutions							
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期集中／ Intensive (Spring)	曜日/Day and Period	集中・その他／ Concentration/Other			
担当者/Instructor	西野 均（NISHINO HITOSHI）							
履修基準年度 Standard Year for Registration	2 年							
履修登録方法/Types of course registration	申込制							

－ 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	対面授業/Face to face format
特記事項/Special Instruction	<履修条件> 「AI活用アプリケーションデザイン入門」の単位を修得済みであることが履修条件となります。 <実施日・時間割> 8/22(木)～24(土),26(月) <授業時間帯(集中講義)> (予定) 第1時限 9:00～10:40 第2時限 10:50～12:30 第3時限 13:10～14:50 第4時限 15:00～16:40
授業目的/Course Purpose	AI関連のAPI機能を理解し、AIをどのようにビジネスに活用するかを考えられるスキルを修得することを目的とする。(AIのAPIを使うことは、使い方を理解してもらうことが目的ですので、プログラミングスキルに精通していなくても演習できるように考慮している) Node-redなどの簡便なビジュアル・プログラミングでAIを活用したアプリケーションの開発を体験し、AI、特に深層学習や生成AI、機械学習を使ったAI機能の知識を再確認し、デザイン思考(デザインシンキング)のプロセスに沿って、AIを活用したビジネスのアイデア創出を実践する
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course is for students to understand the functions of AI-related APIs and acquire skills to consider how to utilize AI in business. Participants will experience developing applications utilizing AI through simple visual programming tools like Node-RED. And They will practice generating business ideas using AI along the process of Design Thinking.
到達目標/Learning Goals	・AI関連のAPIを理解し、ビジュアルツールを使って基本的な操作を理解し、言語処理、音声解析、画像解析などのAPIの組み合わせによる簡単なアプリケーション開発を実施し、AIの機能と使い方を理解する。 ・AIを活用したイノベティブな提案を行うためのデザイン思考のプロセスを理解し、実際にプロセスに乗せた提案作成をグループワークを通じて体験し、AIをビジネスへ活用できるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. The ability to understand basic knowledge, operations, and usage of AI-related APIs, like natural language processing, voice recognition, and image analytics. 2. The ability to understand how to realize solutions through a combination of APIs and try to develop applications using AI-related APIs 3. The ability to understand the Design Thinking process and experience creating an innovative proposal using AI-related APIs based on group work and brainstorming
授業の概要・背景/Course Outline	AI活用とは、特定のAIの技術を使うことが目的ではなく、ユーザーの問題や課題を解決するために必要なAI機能を活用することであり、そのために、近年企業などがインターンシップや研修などでも活用されているデザイン思考の考え方とプロセスを使って演習を行います。演習では、グループワークにてデザイン思考を使ったAI活用のブレインストーミングの演習を実施し、AI機能をビジネスへ活用する方法を定着させる。 前半では、AI活用アプリケーションデザイン入門で学修した、自然言語解析、音声認識や画像/動画解析などのAI機能を利用するためのAPI(Application Programming Interface)を利用したアプリケーションを簡単なビジュアルツール上で稼働させ、AI、特に深層学習、生成AI、機械学習を活用したAI機能の理解を深める。また、生成AIの大規模言語モデル(LLM)を使ったプロンプト作成を体験する。 後半では、AIを活用したビジネスを考えるうえで、顧客視点でユーザーに共感し、正しい問題や課題を見つけ解決するために、デザイン思考プロセスをグループワークを通じて体験し、デザイン思考を使いながら、AI活用のための提案資料を作成し、発表を行う。
授業方法 Course Format	対面授業：講義と演習の組み合わせとなる。演習ではグループワークも取り入れ双方向なディスカッションを行い、実際の演習結果についてはレポートとして提出を求める。 本授業科目では、履修学生が各自のノートPC(タブレットは不可、Windows PCまたはMAC PC)を持参し、通常教室で授業を行う。

	また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。 演習では、AIのAPIはIBM Cloud上の環境を使うために、履修者には授業開始から終了まで、準備されたIBM CloudのIDが提供される。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 機械学習 チャットボット 自然言語処理 音声解析 画像解析 画像認識 デザイン思考 デザインシンキング 生成AI

― 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
	【14回すべて対面授業で実施】	
第1回 Session 1	アプリケーションデザイン実践演習のガイダンスとPC環境のセットアップ： 「クラウド環境とはなにか」、「APIとはなにか」について再度確認し、アプリケーションデザイン実践演習のガイダンスと演習で使うPC環境の構築を行う。（IBM Cloudのアカウントは履修中は各学生に提供される。）	
第2回 Session 2	自然言語処理に関するまとめと事例とチャットボットのアプリ開発1 「チャットボットとはなにか」、「形態素解析とはなにか」を再度理解し、チャットボットを開発する手順を理解する。	
第3回 Session 3	言語処理、意図分類、チャットボットのアプリ開発2： IBM Watson Assistでチャットボットの会話内容を作る。	
第4回 Session 4	言語処理、意図分類、チャットボットのアプリ開発3： Webのアプリケーションから呼び出す簡単なアプリケーション開発を行う。	
第5回 Session 5	言語処理、形態素解析、Word2Vecと音声認識アプリケーション開発の準備： Word2Vecを理解し、単語や文章の類似度などを理解し、IBM Cloud上でWord2Vecのモデル作成と確認を行う。	
第6回 Session 6	音声入力と音声合成、本番機能を活用したアプリケーション開発： 音声入力と音声合成機能のAPIを組み合わせた簡単なアプリケーション開発をIBM Watson API（Speech to Text, Text to Speech）を使って行う。 Webアプリケーションとチャットボットを連携させる開発を行う。 チャットボットを音声でやり取りできるアプリケーション開発を行い、言語処理と音声APIとの組み合わせにより、必要なサービスを実現できることを理解する。	
第7回 Session 7	画像解析の仕掛けと画物体認識アプリの開発1： 画像解析、動画解析に関するまとめと事例から、画像解析の仕掛けと活用方法を理解する。 TensorflowのAPIを使い、PCのカメラやWeb上の画像から、物体を認識する簡単なアプリケーション開発を行う。	
第8回 Session 8	画物体認識アプリの開発2と機械学習機能体験： Posenet（人の体の部位を認識する）アプリケーションを 働かせ、API機能を理解する。 機械学習モデルをIBM Cloud上で構築することを体験する。	
第9回 Session 9	生成AIとプロンプトエンジニアリングの体験： 生成AIにおいてLLM（大規模言語モデル）とななにか？LLMを使ってどのように生成AIを使えるのかを理解し、実際にLLMを使うためのプロンプト（質問）を作り生成AIを体験する	
第10回 Session 10	デザイン思考 グループワーク（Empathize）： デザイン思考のプロセスを理解し、総合演習のテーマを決めて、チームにてワークを行う。 チームでのブレインストーミングを行い、デザインシンキングの理解のフェーズとしてサービスのターゲットとなるユーザーのペルソナを作成し、ペルソナに従い共感マップを作成し、ユーザーの問題を理解する	
第11回 Session 11	デザイン思考 グループワーク（Define, Ideate）： 現在のユーザーの問題と解決すべき課題を抽出し、課題に対しての解決策、特にAIを活用した解決策を中心に考え、その解決策に優先度をつけた上で提案するアイデアを考案する。	
第12回 Session 12	デザイン思考 グループワーク（Prototype）： 本来のデザイン思考では試作を行うフェーズであるが、今回は解決策で実現するシステム構成図、またそれによるあるべき姿と効果を考察する。	
第13回 Session 13	デザイン思考 グループワーク： ここまでグループワークで実施してきた議論の結果をまとめ、発表資料を作成し、最終発表会の準備を行う。	
第14回 Session 14	デザイン思考 グループワーク 最終発表会： 発表会にてデザイン思考のグループワークの内容を提案としてチームで発表する。 入門、実践演習を通して学んだ内容を振り返るとともに、最新の事例や動向なども学び、議論する。	
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・講義資料を事前にダウンロードして予習しておくこと ・適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと	

― 教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	特に指定しない
-----------------------	---------

参考文献・資料 Reference books	適宜指示する
----------------------------	--------

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
--	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常レポート／Individual reports (04)	80 %	

	授業への参加度（自発性、積極性、主体性、等）／In-class participation,contribution (09)	20 %	
--	---	------	--

更新日時/Date of Update	2024年04月29日 19時32分52秒
---------------------	-----------------------

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期集中／Intensive (Spring)	集中・その他／Concentration/Other	春学期集中／Intensive (Spring)	G－2 2 1

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報/Syllabus Information
※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットでご案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42953101	開講キャンパス/Campus	オンライン/Online		
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 6 0 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses	○		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【150】 A I 活用データサイエンス入門 1 /Introduction to Data Science for AI Solutions				
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring	曜時/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other
担当者/Instructor	巳波 弘佳 (MIWA HIROYOSHI) 、 西野 均 (NISHINO HITOSHI)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1 年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

― 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	オンデマンドB型オンライン授業(時間割なし)/On-demand B(w/o timetable)
特記事項/Special Instruction	<履修条件> 「AI活用入門」の単位を修得済みであることが履修条件である。 <履修にあたっての留意点> 1. 顔認証の目的 本科目のラーニングシステムでは、不正アクセス、及び不正行為を防ぐために顔認証を導入しています。システムによって不正行為の可能性が検知された場合、授業担当者による顔写真の検証が行われます。それ以外の目的で顔写真を確認することや、他の目的に使用することは一切ありません。 2. 顔認証を正確に行うため ログイン時・テスト受験時の顔認証では、下記の例の状態にならないよう考慮してください。 例：顔が遠い、顔が正面を向いていない、顔の一部が覆われている、複数人が写り込んでいる、顔の表面が暗い 3. 各回の講義の受講期限 各回には受講期間が定められています。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがあります。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となりますので注意してください。受講可能な段階で、速やかに修了してください。 4. 小テストや、事前/事後課題を進めるために 小テストには合格基準点があり、合格するまで次に進めません。不合格の場合は、再度テストを受験してください。事前/事後課題は実施していないと、講義本編でのワークが実施できませんので、必ず実施してください。 5. 質問や議論方法 講義内容については、まずはTAチャットボットに聞いてみましょう。講義内容に関する議論は「トークボード」を使いましょう。講義受講に関する質問やシステム/教材不備に関する質問は「お問い合わせ」を利用してください。 6. 本科目の単位修得者にオープンバッジを付与します。付与に際しては氏名とメールアドレスを外部システムに登録する必要がありますので予め承知ください。 付与（登録）を希望しない場合は、受講開始後にラーニングシステムの問合せから申し出てください。 ※オープンバッジとはスキル修得を証明するデジタル証明です。修得したオープンバッジは修得者自身によりメール等で共有可能であり、就職活動等のシーンで活用できます。
授業目的/Course Purpose	AIを活用するために必要不可欠なデータ解析に関する基礎知識、技術、活用事例、および問題解決フレームワークを学び、ソフトウェアを用いて実際のビジネス現場で活用できるようになるための基本的な知識とスキルを修得することを目的とする。
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge of data analysis and problem-solving frameworks for using AI well.
到達目標/Learning Goals	- データ解析に関する基礎的な概念を理解し、ツールも用いて活用できるようになる。 - 問題発見・問題解決を行う際の思考法を理解し、活用できるようになる。 - ソフトウェアを用いてデータを解析し、問題解決の思考法を用いて状況を整理することで、結論を導出できるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to understand basic knowledge of data analysis concepts and how to use tools, 2. the ability to understand basic knowledge of problem-solving frameworks, 3. the ability to use data analysis software and solve practical problems based on problem-solving frameworks.
授業の概要・背景/Course Outline	AIを活用するために必要不可欠なデータ解析に関する基礎知識、技術、活用事例、および問題解決フレームワークを学び、ソフトウェアを用いて実際のビジネス現場で活用できるようになるための基本的な知識とスキルを修得する。さらに、サンプルデータに対してソフトウェアのR/R Studioを用いてデータを解析し、様々なフレームワークに基づいて結論を導出する演習を行う。
授業方法 Course Format	オンデマンドB型オンライン授業：バーチャルラーニングにて提供する。つまり履修学生は各自のPCにてオンラインで受講する。各回には小テスト、最後の授業回には総合テストが用意されており、各自オンラインにてテストを受ける。バーチャルラーニングの概要は添付の受講ガイドにて確認すること。 各回には受講期間が定められている。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがある。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となるので注意すること。 授業は専用のラーニングシステムにて配信する。ラーニングシステムのURLは履修者確定後、LUNAに掲載する。また、各回の授業公開日を授業外計画欄に記載している。 なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。また、バーチャルラーニングシステムの利用時には顔認証を行うため、Webカメラが必要。

検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 統計解析 データサイエンス
------------------	-----------------------

— 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第 1 回 Session 1	【14回すべてオンデマンドB型オンライン授業で実施】 【4月11日配信（5月23日公開終了）】 データサイエンス概論 データをビジネスに活用するデータサイエンティスト、および用いられる機械学習の概要について 知り、AI活用データサイエンス入門の概要を理解する。	・受講ガイドを良く読み、バーチャルラーニング での学び方について理解しておくこと。また、必要 なPC環境の設定も行うこと。 ・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 2 回 Session 2	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 基本統計量 統計知識のうち、「基本統計量」および「正規分布」に関する知識を修得し、実際のビジネスにお いてどのようなシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 3 回 Session 3	【4月11日配信（5月23日公開終了）】 データの整理・評価 統計知識のうち、「データ」に関する知識をワークを織り交ぜて修得し、実際のビジネスにおいて どのようなシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 4 回 Session 4	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 統計手法(推定と検定) 統計知識のうち、「推定と検定」に関する知識をワークを織り交ぜて修得し、実際のビジネスにお いてどのようなシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 5 回 Session 5	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 相関・単回帰分析 統計知識のうち、「相関」「単回帰分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのよ うなシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 6 回 Session 6	【4月23日配信（6月4日公開終了）】 重回帰分析・SVM 統計知識のうち、「重回帰」および「SVM」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどの ようなシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 7 回 Session 7	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 決定木分析 統計知識のうち、「決定木分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシー ンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 8 回 Session 8	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 クラスタリング 統計知識のうち、「クラスタリング」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのよう なシーンで活用されているかを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 9 回 Session 9	【5月7日配信（6月18日公開終了）】 主成分分析 統計知識のうち、「主成分分析」に関する知識を修得し、実際のビジネスにおいてどのようなシー ンで活用されているかを理解する。 これまでの内容を復習し、データ分析についての理解を定着させる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 1 0 回 Session 10	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 ロジカルシンキング 「ロジカルシンキング」に関する知識を修得し、思考法の引き出しを増やす。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 1 1 回 Session 11	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 フレームワーク 物事を体系的に整理・分析するための各種フレームワークを理解し、その活用方法を演習形式で修 得する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 1 2 回 Session 12	【5月21日配信（7月2日公開終了）】 ラテラルシンキング・システムシンキング 問題発見・問題解決のときに、新たなものの見方、考え方をするための思考法である「ラテラルシ ンキング」、および動的な複雑性(要素のつながりや相互関係から生じる複雑性)に対応するための 思考法である「システムシンキング」に関する知識を習得し、思考法の引き出しを増やす。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 1 3 回 Session 13	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 総合演習① 仮想ビジネスケースを基に、ビジネス力を活用して仮説を構築し、データエンジニアリング・デー タサイエンス力を活用してデータ解析を行い、定量的な効果の見込める施策の提言につなげる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネ ットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの類題を自ら考え、解 いてみること。
第 1 4 回 Session 14	【6月4日配信（7月16日公開終了）】 総合演習② 仮想ビジネスケースを基に、ビジネス力を活用して仮説を構築し、データエンジニアリング・デー タサイエンス力を活用してデータ解析を行い、定量的な効果の見込める施策の提言につなげる。	講義全体を振り返り、学んだことを復習するこ と。
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・ワーク（演習課題）に取り組むこと	

教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	特に指定しない
-----------------------	---------

参考文献・資料 Reference books	特に指定しない
----------------------------	---------

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
---	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	授業中試験／In-class examination (03)	100 %	

添付ファイル1/File Attachment 1	2024春バーチャルラーニング受講ガイド（シラバス掲載版）.pdf	説明1/Explanation 1	バーチャルラーニング受講ガイド
更新日時/Date of Update	2024年05月01日 14時49分26秒		

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期／Spring	集中・その他／Concentration/Other	春学期／Spring	オンライン

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報/Syllabus Information
※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットでご案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42953601	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus					
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 60 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses						
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs							
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【250】 A I 活用データサイエンス実践演習 1／Practical Data Science for AI Solutions							
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring	曜時/Day and Period	水曜 4 時限／Wednesday 4			
担当者/Instructor	西野 均 (NISHINO HITOSHI)							
履修基準年度 Standard Year for Registration	2 年							
履修登録方法/Types of course registration	申込制							

授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	対面授業/Face to face format
特記事項/Special Instruction	<履修条件> 「AI活用データサイエンス入門」の単位を修得済みであることが履修条件となります。
授業目的/Course Purpose	データサイエンスの演習を通して、論理的で定量的で納得感のあるビジネス提案ができるようになる。 ・データの分析を行い、その結果をビジネスフレームワークを活用して考え、解析および伝達することで、様々な提案をより納得感のあるものへと仕立てるための基本知識とスキルを修得することを目的とする。 ・グループワークなどを通してコミュニケーションを効果的に行うスキルを身につけ、データサイエンティストの手法を学ぶことを目的とする。 ・データをビジネスに活用するための全体的な方法やプレゼンテーションを効果的に行う資料の組み立てなどを含むプレゼンテーションスキルを修得することも目的とする。 (データ分析にはビジュアルツールであるSPSS Modelerを使う予定、一般的なプログラミングスキルに精通していなくても演習でできるように考慮している)
授業目的(英文)/Course Purpose	1. The purpose of this course for students is to learn data analysis methodologies using excise of SPSS Modeler which is a visual tool for a data analytics 2. The purpose of this course is to acquire skills for effective communication through group work, etc., and to learn the methods of a data scientist. 3. The purpose of this course is to acquire presentation skills, including overall methods for utilizing data in business and assembling materials for effective presentations.
到達目標/Learning Goals	・ SPSS Modelerを使ったデータ分析および解析の方法論、ストーリー構造化手法、プレゼンテーション資料作成手法等を理解し、グループワークの中で実際にスキルを発揮することができるようになる。 ・ テーマに応じて、課題の設定・仮説の構築・データの解析・ストーリーの構築・資料の作成・プレゼンテーションを行い、ソリューションを提言できるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. The ability to understand and utilize data analysis methodologies with SPSS, story structuring techniques, and presentation material creation techniques 2. The ability to set issues, build hypotheses, analyze data, build stories, create materials, make presentations, and propose solutions depending on the theme
授業の概要・背景/Course Outline	前半ではSPSS Modeler ツールを使いデータ分析や解析の方法を演習形式で学ぶ。その後伝える力として、提案のストーリー構造化手法、プレゼンテーション資料作成手法等を学ぶ。最後に、与えられたテーマに対して、データを分析・解析し、資料作成・プレゼンテーションを行い、ソリューションを提言する一連のプロジェクト型演習をグループワークにて実施する。
授業方法 Course Format	対面授業：講義と演習の組み合わせとなる。演習ではグループワークも取り入れ双方向なディスカッションを行い、実際の演習結果についてはレポートとして提出を求める。 本授業科目では、履修学生が各自のノートPC（タブレットは不可）を持参し、通常教室で授業を行う。また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。 自分のPCのSPSS Modelerをインストールして、データ分析を実施する。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 機械学習 データサイエンス 統計解析 ロジカルシンキング ビジネスフレームワーク プレゼンテーション SPSS 統計力 論理思考力

授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第 1 回 Session 1	【14回すべて対面授業で実施】 ガイダンスとSPSS Modelerを使ったデータ分析環境の構築： データサイエンス実践演習では、データの分析や解析手法だけではなく、ビジネスフレームワークの活用方法やプレゼンテーシ	

	ョン手法、資料作成技術なども学び、伝える力も身につける。ガイダンスを行った後、データ分析・解析ツールとしてSPSSを使えるようPC環境を構築し、SPSSの使い方を理解する。	
第2回 Session 2	SPSS Modelerの操作手順①（決定木）： データ分析解析ツールとしてSPSS Modelerを使い、決定木のデータ解析方法を、データを用いた演習で学ぶ。	
第3回 Session 3	SPSS Modelerの操作手順②（重回帰）： データ分析解析ツールとしてSPSS Modelerを使い、回帰分析のデータ解析方法を、データを用いた演習で学ぶ。	
第4回 Session 4	SPSS Modelerの操作手順③（クラスタリング）： データ分析解析ツールとしてSPSS Modelerを使い、クラスタリングのデータ解析方法を、データを用いた演習で学ぶ。	
第5回 Session 5	ビジネスフレームワークの演習： ロジカルシンキングおよびそこで使われるビジネスフレームワークについて振り返り、復習と演習を行い、ビジネスフレームワークの活用方法を学ぶ。	
第6回 Session 6	統計力・論理思考力 演習(ロジカルシンキング+SPSS) ①： SPSS Modelerを使ってビジネスデータの分析を行い、その結果をビジネスフレームワークを活用して整理する。	
第7回 Session 7	統計力・論理思考力 演習(ロジカルシンキング+SPSS) ②： ビジネスフレームワークの活用から、マーケティングなどのアクションを考える演習を行い、最終的に発表資料を作成する。データ分析から提案発表までの一連のワークを体験する。	
第8回 Session 8	伝え方（効果的なプレゼンテーション資料の作成、プレゼンテーションのストーリー考案）： 相手に伝わるプレゼンテーションとなるよう、資料の作成方法を学ぶ。 説得力のあるプレゼンテーションとなるよう、ストーリーの作成方法を学ぶ。	
第9回 Session 9	ブレinstoーミングとストーリー作りの演習①： グループワークでのブレinstoーミングを通じて、実際のテーマに対する論理的な提案内容を作成する。 - 問題特定、課題抽出、ToBeモデルのディスカッション	
第10回 Session 10	ブレinstoーミングとストーリー作りの演習②： グループワークでのブレinstoーミングを通じて、実際のテーマに対する提案を論理的に策定する。 - 解決策、アクションプラン、資料の整理のディスカッション	
第11回 Session 11	総合演習① グループワーク： 総合演習として、データサイエンス実践演習で学んできた統計力・論理思考力・ビジネス力をすべて使い、決められたテーマに対する具体的な提案を行う。まずは、データを理解した上で、そのデータを分析、解析し、データから問題の特定と課題抽出を行う。	
第12回 Session 12	総合演習② グループワーク： データ分析結果を基に、解決策をブレinstoーミングして、プレゼンテーションに向けた提案書の作成をチーム内で役割を決めて実施する。プレゼンテーション資料作成については、これまでの学習内容（プレゼンテーション資料、ストーリーの作成方法）を実践し、相手にとって納得感のある資料構成を考える。	
第13回 Session 13	総合演習③ グループワーク： 最終発表会に向けて引き続き提案書の作成を行う。必要に応じて教員が提案書について指導を行う。	
第14回 Session 14	総合演習 最終発表会 グループワーク： 総合演習として提案書の発表（プレゼンテーション）を行う。他のチームメンバーや教員からの質問やコメントを通じて、準備した資料や発表内容についての振り返りを行う。発表後はプレゼンテーション資料の提出を求める。	
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行ってお こと ・講義資料を事前にダウンロードして予習してお こと ・適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと	

教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.	
教科書 Required texts	特に指定しない
参考文献・資料 Reference books	適宜指示する
学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にして ださい。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常レポート/Individual reports (04)	80 %	
	授業への参加度（自発性、積極性、主体性、等）/In-class participation,contribution (09)	20 %	

更新日時/Date of Update	2024年04月29日 19時33分21秒
---------------------	-----------------------

教室情報/Classroom Information					
項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期/Spring	水曜 4時限/Wednesday 4	春学期/Spring	G-224

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認して ださい。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

シラバス情報/Syllabus Information
※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットで案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.
授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42952501	開講キャンパス/Campus	オンライン/Online		
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 60 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses	○		
管理部署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【200】 A I 活用UX/UIデザインプログラミング演習 1 /Practical Programming of UX/UI Design for AI Solutions				
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期／Spring	曜時/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other
担当者/Instructor	巳波 弘佳 (MIWA HIROYOSHI), 陰山 真矢 (KAGEYAMA MAYA)				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1 年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

― 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	オンデマンドB型オンライン授業(時間割なし)/On-demand B(w/o timetable)
特記事項/Special Instruction	<履修条件> 「AI活用入門」の単位を修得済みであることが履修条件となります。 <履修にあたっての留意点> 1. 顔認証の目的本科目のラーニングシステムでは、不正アクセス、及び不正行為を防ぐために顔認証を導入しています。システムによって不正行為の可能性が検知された場合、授業担当者による顔写真の検証が行われます。それ以外の目的で顔写真を確認することや、他の目的に使用することは一切ありません。2. 顔認証を正確に行うためログイン時・テスト受験時の顔認証では、下記の例の状態にならないよう考慮してください。例：顔が遠い、顔が正面を向いていない、顔の一部が覆われている、複数人が写り込んでいる、顔の表面が暗い3. 各回の講義の受講期限各回には受講期間が定められています。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがあります。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となりますので注意してください。受講可能な段階で、速やかに修了してください。4. 小テストや、事前/事後課題を進めるために小テストには合格基準点があり、合格するまで次に進めません。不合格の場合は、再度テストを受験してください。事前/事後課題は実施していないと、講義本編でのワークが実施できませんので、必ず実施してください。5. 質問や議論方法講義内容については、まずはTAチャットボットに聞いてみましょう。講義内容に関する議論は「トークボード」を使いましょう。講義受講に関する質問やシステム/教材不備に関する質問は「お問い合わせ」を利用してください。6. 本科目の単位修得者にオープンバッジを付与します。付与に際しては氏名とメールアドレスを外部システムに登録する必要がありますので予め承知ください。付与（登録）を希望しない場合は、受講開始後にラーニングシステムの問合せから申し出てください。※オープンバッジとはスキル修得を証明するデジタル証明です。修得したオープンバッジは修得者自身によりメール等で共有可能であり、就職活動等のシーンで活用できます。
授業目的/Course Purpose	UX/UIデザイン、デザイン思考の基本的な考え方、HTML/CSS/JavaScriptを学び、AIを活用したWEBアプリケーションにおけるUX/UI開発に関する知識とスキルを修得することを目的とする。
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course is for students to acquire basic knowledge of UX/UI design, design thinking, and basic programming skill of HTML/CSS/JavaScript for developing Web application utilizing AI.
到達目標/Learning Goals	・UX/UIデザインについて理解を深めると共に、デザイン思考の基本を身につける。 ・HTML/CSS/JavaScript等を使って、UX/UIデザインに優れた動的なブラウザベースのアプリケーションを開発できる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to understand and explain basic knowledge of UX/UI design and design thinking, 2. the ability to developing Web application utilizing AI by using HTML/CSS/JavaScript.
授業の概要・背景/Course Outline	UX/UIデザインの重要性を理解するとともに、デザイン思考のメソッドを身につけて、HTML/CSS/JavaScript等を活用したアプリケーションの開発スキルの修得をめざす。
授業方法 Course Format	オンデマンドB型オンライン授業：バーチャルラーニングにて提供する。つまり履修学生は各自のPCにてオンラインで受講する。各回には小テストが用意されており、各自オンラインにてテストを受ける。バーチャルラーニングの概要は添付の受講ガイドにて確認すること。 各回には受講期間が定められている。期日までに受講を完了しない場合、その後は受講ができなくなることがある。受講できなくなった場合にはそれ以降の動画を視聴することができず不合格となるので注意すること。 授業は専用のラーニングシステムにて配信する。ラーニングシステムのURLは履修者確定後、LUNAIに掲載する。また、各回の授業公開日を授業計画欄に記載している。 なお、PCの推奨環境は、Microsoft Windows10、またはMac OS X 10.8以上。タブレットは不可。また、バーチャルラーニングシステムの利用時には顔認証を行うため、Webカメラが必要。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 UX UI デザイン思考 プログラミング HTML CSS JavaScript

― 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【14回すべてオンデマンドB型オンライン授業で実施】 【4月11日配信（5月23日公開終了）】	・受講ガイドを良く読み、バーチャルラーニングでの学び方について理解しておくこと。 また、必要なPC環境の設定も行っておくこと。 ・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。

	ユーザーエクスペリエンス (UX) UX: User Experience (ユーザーエクスペリエンス)について理解を深め、デザイン思考の基本を身につける。	・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 2 回 Session 2	【4月11日配信 (5月23日公開終了)】 ユーザーインターフェース (UI) UI: User Interface(ユーザーインターフェース)について理解を深め、UIの考え方を身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 3 回 Session 3	【4月11日配信 (5月23日公開終了)】 Design Thinkingを用いたUX/UI デザイン思考(Design Thinking)について理解を深め、UX/UIデザインの手法を身につける。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 4 回 Session 4	【4月23日配信 (6月4日公開終了)】 HTMLプログラミング HTMLの基礎を理解し、HTMLを用いて簡単なWebページの作成ができるようになる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 5 回 Session 5	【4月23日配信 (6月4日公開終了)】 CSSプログラミング CSSの基礎を理解し、CSSを用いて第4回で作成したWebページのデザインをブラッシュアップする。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 6 回 Session 6	【4月23日配信 (6月4日公開終了)】 デザインガイドライン デザインガイドラインについて理解し、デザインガイドラインを適用したWebサイトの作成ができるようになる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 7 回 Session 7	【5月7日配信 (6月18日公開終了)】 HTML/CSSプログラミング実践 第1～6回までの授業で扱った内容を使い、Webページを作成する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 8 回 Session 8	【5月7日配信 (6月18日公開終了)】 JavaScriptプログラミング (基礎) JavaScriptとは何かを理解し、基本構文を記述する際のルールを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 9 回 Session 9	【5月7日配信 (6月18日公開終了)】 JavaScriptプログラミング (応用①) JavaScriptの制御構文・オブジェクトなどを理解し、基本構文を記述できるようになる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 1 0 回 Session 10	【5月21日配信 (7月2日公開終了)】 JavaScriptプログラミング (応用②) JavaScriptでHTMLを操作する仕組みを理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 1 1 回 Session 11	【5月21日配信 (7月2日公開終了)】 JavaScriptプログラミング (応用③) 実践的なJavaScriptAPIの利用方法を理解する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 1 2 回 Session 12	【5月21日配信 (7月2日公開終了)】 総合演習 (画面設計) テーマを設定し、そのテーマに即したUX/UIをデザインする。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 1 3 回 Session 13	【6月4日配信 (7月16日公開終了)】 総合演習 2 (画面開発) 第12回でデザインしたワイヤーフレームワークをもとにWebサイトを作成する。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。
第 1 4 回 Session 14	【6月4日配信 (7月16日公開終了)】 総合演習 3 (画面機能の拡張) HTML/CSS実装をベースにJavaScriptを使ってロジックを実装できるようになる。	・授業で学んだことや関連した話題について、ネットや書籍などで調べてまとめること。 ・演習やワーク、小テストの様々な類題を自ら考え、解いてみること。特にプログラミングについては、プログラムと動作の関係を納得できるまで試行錯誤を繰り返すことが重要であり、上達の最も早道である。 ・講義全体を振り返り、学んだことを復習すること。
授業外学修 Study Required outside Class	・各回の演習が円滑にできるよう、指示された事前準備を行っておくこと ・ワーク (演習課題) に取り組むこと	

教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.	
教科書 Required texts	特に指定しない
参考文献・資料 Reference books	特に指定しない

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
---	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	授業中試験／In-class examination (03)	100 %	

添付ファイル1/File Attachment 1	2024春バーチャルラーニング受講ガイド（シラバス掲載版）.pdf	説明1/Explanation 1	バーチャルラーニング受講ガイド
更新日時/Date of Update	2024年05月01日 14時49分00秒		

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜日 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期／Spring	集中・その他／Concentration/Other	春学期／Spring	オンライン

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面	結果一覧画面	照会画面
--------	--------	------

シラバス情報/Syllabus Information

※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットでご案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42954001	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス／Nishinomiya Uegahara Campus					
授業開講年度/Academic Year	2024年度	オンライン授業 60 単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses						
管理部署/Administrative Department	共通教育センター／Center for Common Educational Programs							
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【300】 A I 活用発展演習 I 1 ／Project-Based Seminar for AI Solutions I							
単位数/Credit	2	履修期/Term	春学期集中／Intensive (Spring)	曜日/Day and Period	集中・その他／Concentration/Other			
担当者/Instructor	西野 均 (NISHINO HITOSHI)							
履修基準年度 Standard Year for Registration	2 年							
履修登録方法/Types of course registration	申込制							

— 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業形態/Course Implementation Format	対面授業/Face to face format
特記事項/Special Instruction	【合併】 A I 活用発展演習 I 1 (共通教育センター) / A I 活用発展演習 I 1 (共通教育センター) <新先修条件> ※新先修条件は2023年度以前入学生・2024年度以降入学生どちらも対象です。 次の【1】 から【3】 すべてをを満たしていること 【1】 「 A I 活用導入演習 A 」 (2021年度まで開講) 「 A I 活用導入演習 B 」 (2021年度まで開講) のすべての科目を修得している または 「 A I 活用アプリケーションデザイン実践演習」 を修得している 【2】 「 A I 活用データサイエンス実践演習 II 」 (2020年度まで開講) を修得している または 「 A I 活用データサイエンス実践演習」 を修得している 【3】 「 A I 活用実践演習 C 」 (2023年度まで開講) を修得している 「 A I 活用 U X / U I デザインプログラミング演習」 を修得している <旧先修条件> ※旧先修条件は2023年度以前入学生のみ対象です。 次の【1】 から【4】 すべてをを満たしていること 【1】 「 A I 活用導入演習 A 」 (2021年度まで開講) 「 A I 活用導入演習 B 」 (2021年度まで開講) のすべての科目を修得している または 「 A I 活用アプリケーションデザイン実践演習」 を修得している 【2】 「 A I 活用実践演習 A (JavaによるWebアプリケーションデザイン) 」 (2022年度まで開講) を修得している または 「 A I 活用Webアプリケーションプログラミング演習」 を修得している 【3】 「 A I 活用実践演習 B (Pythonによる機械学習・深層学習) 」 (2021年度まで開講) を修得している または 「 A I 活用機械学習プログラミング演習」 を修得している 【4】 「 A I 活用実践演習 C (Webデザイン) 」 または 「 A I 活用 U X / U I デザインプログラミング演習」 を修得している <実施日・時間割> 2024年 9/2(月)~5(木) <授業時間帯 (集中講義) > (予定) 第1時限 9 : 00~10 : 40 第2時限 10 : 50~12 : 30 第3時限 13 : 10~14 : 50 第4時限 15 : 00~16 : 40

授業目的/Course Purpose	企業が抱える様々な課題をテーマとして企業から提供を受け、演習ではチームを構成し、AIを活用したソリューションを提案できる能力を修得することを目的とする。
授業目的(英文)/Course Purpose	The purpose of this course for students is to form a team for various issues facing companies and local governments and to acquire the ability to propose solutions using AI.
到達目標/Learning Goals	・グループワークやプレゼンテーション等において、チーム・ビルディングができるようになる。 ・チームを構成し、AIを利用したアプリケーションのプロトタイプを開発し、ソリューションを提言できるようになる。 ・デザイン思考を活用した創造的解決方法を体験し、デザイン思考を実践することができるようになる。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire the following basic knowledge, skills, and abilities: 1. the ability to make a team building for a possibility of work and presentations. 2. the ability to develop applications using AI to propose solutions with forming a team. 3. the ability to make an experience for an inovative solution methodology using Design Thinking.
授業の概要・背景/Course Outline	デザイン思考をベースにしたプロセスで、問題や課題の抽出、およびその課題を解決するイノベティブな解決策をブレインストーミングを通じて考える。その後グループワークにて、AIを利用したアプリケーションのプロトタイプを開発し、提案資料を作成し、プレゼンテーション行う等、サービスに関する一連の提言を行う課題解決型のプロジェクト演習を実施する。AI活用アプリケーションデザイン実践演習で修得したスキルを活用し、実際の企業（または外部団体）の問題について考え、企業とディスカッションし、企業からのフィードバックを受けることで、AIを活用するプロセスを実行するためのスキルの定着を図る。
授業方法 Course Format	対面授業で実施。演習ではグループワークも取り入れ双方向なディスカッションを行う。最終授業回では発表会でプレゼンテーションを行い、授業後にリポートとして資料提出を求める。外部企業からの期待を基に、チームでのワークを中心に進めるため、ワークの進捗状況及びテーマの内容に応じて、授業計画を変更しながら演習を進めることも想定される。本授業科目では、履修学生が各自のノートPC（タブレットは不可）を持参し、通常教室で授業を行う。また、LUNAを使用して資料のダウンロードや課題の提出を求める。
検索キーワード/Keywords	AI 人工知能 機械学習 自然言語解析 チャットボット デザイン思考 デザインシンキング グループワーク PBL

－ 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第 1 回 Session 1	【14回すべて対面授業で実施】 (1日目) ガイダンス： テーマ発表、チーム編成 - 授業の目的と目標、受講方法を理解する。 - チームを作り、4日間のグループワークのためのチームビルディングを行う。	
第 2 回 Session 2	(1日目) テーマに対する問題、課題の抽出① - テーマに対して、企業からの説明を受け、テーマの背景、企業の期待を理解して4日間のグループワークの進め方、方向性を共有する。 - 第3回で行うユーザーへのインタビューに向けた準備を行う。	
第 3 回 Session 3	(1日目) テーマに対する問題、課題の抽出② - ユーザーへのインタビューを行いユーザーの考えていること、期待していること、問題と思っていることなどの情報を集める。 - チーム内でインタビュー結果についてブレインストーミングを行い、共感マップを活用しつつ、収集した情報を整理する。	
第 4 回 Session 4	(1日目) テーマに対する問題、課題の抽出③ - チーム内でブレインストーミングを行い、共感マップを活用しつつ、収集した情報を整理して問題、課題の抽出を行う。 - テーマにおけるユーザーの解くべき問題を選定し、今後の解決策を考える上での課題を特定する。	
第 5 回 Session 5	(2日目) テーマに対する問題、課題の抽出④ - ユーザーの問題を解決するためのサービスのアイデアについてディスカッションを行う。	
第 6 回 Session 6	(2日目) アイデアの創出 - ユーザーの問題を解決するためのサービスのアイデアについてブレインストーミングを行う。	
第 7 回 Session 7	(2日目) 提案・デモプログラムの設計② - プロジェクトの進め方、マイルストーン、チーム内の役割（プロジェクトマネジメント、提案チーム、プロトタイプ開発チームなど）を決める。 - プレゼンテーションのシナリオのについてディスカッションを行う。	
第 8 回 Session 8	(2日目) 提案・デモプログラムの設計③ - プレゼンテーション資料を作成する。 - プロトタイプで作成するデモ内容をディスカッションする。	
第 9 回 Session 9	(3日目) 資料作成とプロトタイプの開発 - 最終発表に向けて進捗を確認する。主なチェックポイントは「プロジェクトの背景と目的」、「問題と課題」、「課題解決の手法」、「プロトタイプのデモ」、「まとめと今後の課題」	
第 1 0 回 Session 10	(3日目) プロトタイププログラムと最終発表資料の作成① - 各チームでプログラムおよびプレゼンテーション資料の作成を行う。	
第 1 1 回 Session 11	(3日目) プロトタイププログラムと最終発表資料の作成② - 各チームでプログラムおよびプレゼンテーション資料の作成を行う。	
第 1 2 回 Session 12	(3日目) プロトタイププログラムと最終発表資料の作成③ - 各チームでプログラムおよびプレゼンテーション資料の改良を行う。最終発表に向けて進捗を確認する。 - 「最終日までに必要なアクション」が完了しているかをチェックする。	
第 1 3 回 Session 13	(4日目) プロトタイププログラムと最終発表資料の作成④と発表会の準備 - 4日目の最初にプレゼンテーション資料と発表シナリオを確認し、資料の最終調整を行う。 - 各チームで発表前の最終打合せとリハーサルを行う。	
第 1 4 回 Session 14	(4日目) 最終発表会 - 発表内容：「プロジェクトの背景と目的」、「問題と課題」、「課題解決の手法」、「プロトタイプのデモ」、「まとめと今後の課題」など - 審査委員からの質疑応答、総括（審査委員とのディスカッション）を行う。 - 修了後、企業とのラウンドテーブルを予定しますので、終了時間を延長する場合があります	
授業外学修 Study Required outside Class	・ 講義資料を事前にダウンロードして予習しておくこと ・ 適宜宿題として課される演習課題に取り組むこと	

教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	特に指定しない
-----------------------	---------

参考文献・資料 Reference books	適宜指示する
----------------------------	--------

学位授与の方針との関連 Relationship to Diploma Policy	各授業科目は、各学部・研究科の定めるディプロマ・ポリシー（DP）・カリキュラム・ポリシー（CP）に基づき、カリキュラム上に配置されています。 DP・CPを意識して本授業科目の学修を進めることで、各学部・研究科の期待する能力が養成されます。 各学部・研究科のDP、CPや教育課程表（授業科目一覧等）は、下記リンクこちらに掲載していますので学修計画の参考にしてください。 https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&cabinetId=557&directLink=1 ※kwicへのリンクとなります（在学生のみ閲覧可）
---	---

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常レポート／Individual reports (04)	80 %	
	授業への参加度（自発性、積極性、主体性、等）／In-class participation,contribution (09)	20 %	

更新日時/Date of Update	2024年04月29日 19時31分47秒
---------------------	-----------------------

教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2024年度	春学期集中／Intensive (Spring)	集中・その他／Concentration/Other	春学期集中／Intensive (Spring)	G－106

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。
* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.

戻る/Back

第1章 総則

第1条 本大学は、学校教育法及び教育基本法の規定するところに従い、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究し、キリスト教主義に基づいて人格を陶冶することを目的とする。

2 学部又は学科ごとの、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的については、別表のとおりとする。

第2条 本大学に神学部・文学部・社会学部・法学部・経済学部・商学部・総合政策学部・人間福祉学部・教育学部・国際学部・理学部・工学部・生命環境学部及び建築学部を置く。

(略)

第3章 教育課程

第17条 本大学各学部の授業科目を必修科目・選択必修科目・選択科目に分け、これを4年間に配当し教授する。

(略)

第23条 本大学における授業科目及び単位数を第1節から第16節に定めるとおりとする。

2 各学部において履修することができる科目及び履修方法の詳細は、各学部教育課程表（学則別表）又は履修規程においてこれを定める。なお、各学部の授業科目のうちキリスト教科目から4単位以上、言語教育科目から12単位以上を履修するものとする。

第1節 全学科目

第24条 全学にわたって開講する科目を次のとおりとする。

言語教育科目

入門英語ⅠA 1 入門英語ⅠB 1 入門英語ⅡA 1 入門英語ⅡB 1

スプリング・インテンシブ・イングリッシュ 2 インテンシブ・イングリッシュ 3

Skills-based English（1科目1又は2単位） Special English Seminar 1

英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ 4 英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅱ 4

英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅲ 4 英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ 3

英語中期留学クイーンズ大学Ⅱ 5 英語中期留学クイーンズ大学Ⅲ 5

英語中期留学トロント大学スピーキング 3 英語中期留学トロント大学Ⅰ 5

英語中期留学トロント大学Ⅱ 5 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ 4

英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅱ 4

英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅲ 4

英語中期留学オックスフォード大学Ⅰ 8 英語中期留学オックスフォード大学Ⅱ 8

英語中期留学ゲルフ大学Ⅰ 6 英語中期留学ゲルフ大学Ⅱ 6

英語中期留学ネブラスカ大学Ⅰ 7 英語中期留学ネブラスカ大学Ⅱ 7
 英語中期留学ケンブリッジ大学Ⅰ 4 英語中期留学ケンブリッジ大学Ⅱ 4
 英語中期留学ケンブリッジ大学Ⅲ 3 英語中期留学クイーンズランド大学Ⅰ 4
 英語中期留学クイーンズランド大学Ⅱ 4 英語中期留学クイーンズランド大学Ⅲ 4
 英語中期留学マラヤ大学Ⅰ 3 英語中期留学マラヤ大学Ⅱ 3 英語中期留学マラヤ大学Ⅲ 3
 英語中期留学ソノマ州立大学Ⅰ 7 英語中期留学ソノマ州立大学Ⅱ 7
 英語中期留学レスター大学Ⅰ 3 英語中期留学レスター大学Ⅱ 9
 英語中期留学ワイカト大学Ⅰ 5 英語中期留学ワイカト大学Ⅱ 5
 英語中期留学ワイカト大学Ⅲ 5 英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅰ 7
 英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅱ（1科目5又は7単位） 英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅲ 7
 英語中期留学チェンマイ大学Ⅰ 6 英語中期留学チェンマイ大学Ⅱ 6
 フランス語インテンシブ初級Ⅰ 3 フランス語インテンシブ初級Ⅱ 3
 フランス語インテンシブ初級Ⅲ 2 フランス語インテンシブ中級 2
 フランス語中期留学導入 1 フランス語中期留学Ⅰ（1科目4又は5単位）
 フランス語中期留学Ⅱ（1科目4又は5単位） フランス語中期留学Ⅲ 4
 基礎フランス語Ⅰ 1 基礎フランス語Ⅱ 1 基礎フランス語Ⅲ 1
 基礎フランス語Ⅳ 1 フランス語アラカルト（読む） 1 フランス語アラカルト（書く） 1
 フランス語アラカルト（聞く・話す）A 1 フランス語アラカルト（聞く・話す）B 1
 フランス語アラカルト（聞く・話す）C 1 ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ 3
 ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ 3 ドイツ語インテンシブ初級Ⅲ 2
 ドイツ語インテンシブ中級 2 基礎ドイツ語Ⅰ 1 基礎ドイツ語Ⅱ 1
 基礎ドイツ語Ⅲ 1 基礎ドイツ語Ⅳ 1 ドイツ語アラカルト（読む） 1
 ドイツ語アラカルト（書く） 1 ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A 1
 ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B 1 日本語Ⅰ 2 日本語Ⅱ 2 日本語Ⅲ 2
 日本語Ⅳ 2 ビジネス日本語A 1 ビジネス日本語B 1 ビジネス日本語C 1
 日本語学習科目（1科目各1～5単位） ロシア語初級Ⅰ 1
 ロシア語初級Ⅱ 1 ロシア語初中級 1 イタリア語初級Ⅰ 1
 イタリア語初級Ⅱ 1 イタリア語初中級 1 スペイン語初級Ⅰ 1
 スペイン語初級Ⅱ 1 スペイン語初級Ⅲ 1 スペイン語中級 1
 スペイン語中期留学Ⅰ 7 スペイン語中期留学Ⅱ 7 ポルトガル語初級Ⅰ 1
 ポルトガル語初級Ⅱ 1 ポルトガル語初中級 1 アラビア語初級Ⅰ 1
 アラビア語初級Ⅱ 1 アラビア語初中級 1 基礎中国語Ⅰ 1
 基礎中国語Ⅱ 1 基礎中国語Ⅲ 1 基礎中国語Ⅳ 1
 中国語中級 1 朝鮮語初級Ⅰ 1 朝鮮語初級Ⅱ 1 朝鮮語初級Ⅲ 1
 朝鮮語中級 1 インドネシア語初級Ⅰ 1 インドネシア語初級Ⅱ 1

インドネシア語初中級 1 日本手話初級Ⅰ 1 日本手話初級Ⅱ 1

スポーツ科学・健康科学科目

スポーツ科学講義A 2 スポーツ科学講義B 2 スポーツ科学講義C 2

スポーツ科学講義D 2 健康科学講義A 2 健康科学講義B 2

健康科学講義C 2 体育方法学講義A 2 体育方法学講義B 2

体育方法学講義C 2 余暇生活学講義A 2 余暇生活学講義B 2

余暇生活学講義C 2 スポーツ科学演習A 2 スポーツ科学演習B 2

スポーツ科学演習C 2 スポーツ科学演習D 2 スポーツ科学演習E 2

スポーツ科学演習F 2 健康科学演習A 2 健康科学演習B 2

健康科学演習C 2 健康科学演習D 2 健康科学演習E 2

体育方法学演習A 2 体育方法学演習B 2 体育方法学演習C 2

余暇生活学演習A 2 余暇生活学演習B 2 余暇生活学演習C 2

余暇生活学演習D 2 余暇生活学演習E 2 余暇生活学演習F 2

情報科学科目

コンピュータ基礎 2 コンピュータ実践 2 プログラミング言語基礎 2

プログラミング言語応用 2 文科系学生のための情報技術入門 2 情報技術概論 2

AI活用人材育成科目

AI活用入門 2 AI活用アプリケーションデザイン入門 2

AI活用アプリケーションデザイン実践演習 2

AI活用Webアプリケーションプログラミング演習 2 AI活用機械学習プログラミング演習 2

AI活用UX/UIデザインプログラミング演習 2

AI活用データサイエンス入門 2 AI活用データサイエンス実践演習 2

AI活用発展演習Ⅰ 2 AI活用発展演習Ⅱ 2

グローバルスタディーズ科目

Language and Communication 2 Culture and Society 2

Academic Writing and Presentation 2 Project-based Seminar in English 2

海外学習活動（ドイツ） 2 English for Cross-Cultural Studies A 2

English for Cross-Cultural Studies B 2

国連ユースボランティア実習（1科目4又は8又は12単位）国連ユースボランティア課題研究 4

国際社会貢献実習 12 国際社会貢献課題研究 4 海外フィールドワーク 2

国際情報分析 2 国際環境論 2 教育開発論 2 国際平和構築論 2

プロジェクトマネジメントⅠ 2 プロジェクトマネジメントⅡ 2

プロジェクトマネジメントⅢ 2 プロジェクトマネジメントⅣ 2 世界市民論 2

International Politics and EconomyA 2 International Politics and EconomyB 2

グローバルゼミA 2 グローバルゼミB 2

国際ボランティアゼミⅠ 2 国際ボランティアゼミⅡ 2
 グローバル社会の課題と持続可能な未来 2 SDGsスタディーズ入門 2 日本文化総論 2
 日本政治総論 2 日本史概略 2 日本企業文化論 2
 インドネシア交流セミナーA 2 インドネシア交流セミナーB 2 トルコ交流セミナーA 2
 トルコ交流セミナーB 2 海外異文化体験セミナー 1 グローバルPBL（1科目1又は2単位）
 カナダ研究マウント・アリソン大学 3 国際研究マウント・アリソン大学 3
 カナダ研究トロント大学 3 マレー文化研究 5 タイ文化社会研究 2 カナダ研究入門A 2
 カナダ研究入門B 2 Topics in Canadian Studies A 2 Topics in Canadian Studies B 2
 Topics in Canadian Studies C 2 Topics in Canadian Studies D 2 北欧研究入門 2
 グローバルスタディーズ入門 2 留学とキャリア設計 2 International Scholar's TopicsA 2
 International Scholar's Topics B 2
 海外社会体験実習（オーストラリア）（1科目5又は6単位）
 インターンシップ準備演習（オーストラリア）（1科目3又は4単位）
 海外社会体験実習（マレーシア） 4 海外社会体験実習（タイ） 1
 海外社会体験実習（ハワイ） 2 短期海外インターンシップ 4
 外国大学科目（1科目各1～8単位） 多文化共修科目（1科目1～3単位）
 総合日本学習科目（1科目2又は3単位）
 CCC Introduction to Multicultural Studies 2 CCC Introduction to International Relations 2
 CCC Joint Seminar in Japan 3 CCC Joint Seminar in Canada 3
 CCC Global Internship in Japan 3 CCC Global Internship in Canada 3
 CCC Field Study in Canadian Business 3 CCC Global Career Seminar in Japan 3
 CCC Global Career Seminar in Canada 3 CCC Cross-Cultural Workshop 3
 日本語教育基礎 2 日本語教育基礎演習 2
 Career Seminar for International Organizations 2
 国連・外交入門（開発） 2 国連・外交入門（平和・人権・人道） 2
 国連・外交フィールドワーク 2 国際教養としての時事問題 1
 国連セミナー（1科目2又は4単位）
 グローバルキャリア開発演習 2 SDGs実践特別演習 2
 ライフデザイン科目
 KGキャリア入門 2 ライフデザインと仕事 2 キャリアゼミ 2 霞が関セミナー 2
 基盤・学際科目
 基盤科目群
 「関学」学 2 災害復興学A 2 災害復興学B 2 人権教育科目（1科目2又は4単位）
 平和学特別演習「ヒロシマ」 2 原発問題特別演習「福島」 2
 学際科目群

総合コース（1コース各2又は4単位） スタディスキルセミナー 2

寄附講座（1科目2又は4単位） 連携講座（1科目1～4単位）

西宮市大学共通単位講座（1科目1又は2単位）

コンソーシアムひょうご神戸講座（1科目1又は2単位）

ハンズオン・プラクティス 2 社会探究入門 2 社会探究演習Ⅰ 2 社会探究演習Ⅱ 2

社会探究実習Ⅰ 2 社会探究実習Ⅱ 2 ハンズオン・ザ・グラウンド 6

ハンズオン・インターンシップⅠ 6 ハンズオン・インターンシップⅡ 6

ハンズオン・アドバンストⅠ 2 ハンズオン・アドバンストⅡ 2

PBL特別演習（1科目2又は4単位） 国内協定大学科目（1科目各1～8単位）

他大学単位互換科目（1科目1又は2単位）

第2節 神学部 (略)

第3節 文学部 (略)

第4節 社会学部 (略)

第5節 法学部 (略)

第6節 経済学部 (略)

第7節 商学部 (略)

第8節 削除

第9節 総合政策学部 (略)

第10節 人間福祉学部 (略)

第11節 教育学部 (略)

第12節 国際学部 (略)

第13節 理学部 (略)

第14節 工学部 (略)

第15節 生命環境学部 (略)

第16節 建築学部 (略)

第17節 卒業必要単位数

第47条 本学各学部の卒業に必要な最低単位数を次のとおりとする。

(略)

附 則

1 この学則は、2024年（令和6年）4月1日から改正施行する。

(略)

〈学則別表〉 神学部教育課程表（2021年度以降入学生） 2024年度版

履修 基準年度	コース	キリスト教教育科目		言語教育科目		基礎教育科目		専門基礎科目			専門専攻科目			自由履修科目	教職等資格関連科目					
		ナンバ リング	必修科目	ナンバ リング	選択必修科目	ナンバ リング	必修科目	ナンバ リング	選択科目	ナンバ リング	必修科目	ナンバ リング	選択必修科目	ナンバ リング	選択科目		ナンバ リング	教科に関する科目	ナンバ リング	教職に関する科目
第1学年	両コース共通	※ 100 キリスト教学 A (2) ※ 100 キリスト教学 B (2)	200 教会と礼拝体験(2)	※ 100 英語（リーディング）甲(1) ※ 100 英語（リーディング）乙(1) ※ 100 英語（ライティング）甲(1) ※ 100 英語（ライティング）乙(1) ※ 100 入門英語 I A(1) ※ 100 入門英語 I B(1) ※ 200 日本語 I (2) 外国人留学生のみ ※ 200 日本語 II (2) 〃 150 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ(2) 200 インテンシブ・イングリッシュ(3)	100 ドイツ語入門甲(1) 100 ドイツ語入門乙(1) 100 ドイツ語初級甲(1) 100 ドイツ語初級乙(1) 200 ドイツ語インテンシブ初級 I (3) 学則第24条 「言語教育科目」群	※ 100 基礎演習 A (2) ※ 100 基礎演習 B (2)	100 情報処理概論 A (2) 200 新約聖書入門 I (2) 100 情報処理概論 B (2) 100 日本国憲法(2)	※ 200 旧約聖書入門 I (2) 200 新約聖書入門 I (2) ※ 200 キリスト教の歴史(古代～中世)(2) ※ 200 日本キリスト教史 I (2) ※ 200 キリスト教の実践的課題 I (2) ※ 200 キリスト教思想 I (2) ※ 200 宗教学概論 I (2) ※ 200 新約聖書ギリシャ語 I (2)	200 新約聖書時代史(2) 300 東アジアの宗教(2) 300 日本キリスト教史 A (2)	200 ラテン語 I (2) 300 ラテン語 II (2)			200 日本宗教史 A (2) 200 日本宗教史 B (2) 200 現代社会における宗教 A (2) 200 現代社会における宗教 B (2) 200 西洋哲学史 A (2) 200 西洋哲学史 B (2)	学則第24条 「スポーツ科学・健康科学科目」群 「情報科学科目」群 「AI 活用人材育成科目」群 「グローバルスタディーズ科目」群 「ライフデザイン科目」群 「基盤・学際科目」群 他学部開講科目 MS（複数分野専攻制）科目	250 憲法 A（基本的人権総論）(2) 250 民法総則(4) 100 社会学概説(2) 200 社会学原論 A (2) 200 社会学原論 B (2)	100 教職概論(2) 100 教育原論(2) 100 発達・学習過程論(2) 100 学校教育論(2)	(国形・バカロレア教員養成プログラム関連科目) 100 IB 概論(2)			
	伝道者コース												300 旧約聖書の思想 A (2) 300 旧約聖書の思想 B (2) 300 新約聖書の思想 A (2) 300 新約聖書の思想 B (2)			200 政治学原論 A (2) 300 政治学原論 B (2) 200 国際政治論 A (2) 250 憲法 B（基本的人権各論）(2) 300 国際法総論 A (2) 300 行政法概論(2) 300 行政作用法(2)	200 特別支援教育概論(2) 200 教育課程論(2) 200 道徳教育論(2) 200 特別活動・総合的な学習の時間の指導法(2) 200 教育方法基礎論(2) 200 生徒指導・進路指導専論(2) 200 教育相談基礎論(2) 200 人権教育論(2) 200 環境教育論(2) 300 宗教科教育法 A (2) 300 宗教科教育法 B (2) 300 宗教科教育法 C (2) 300 宗教科教育法 D (2) 300 社会・公民科教育法(2) 300 公民科教育法(2)	(国形・バカロレア教員養成プログラム関連科目) 200 IB 教育方法論・評価論 I (2) 200 IB 教育方法論・評価論 II (2)		
第2学年	両コース共通		200 メソジストの伝統と神学部(2)	※ 150 英語（コミュニケーション）甲(1) ※ 150 英語（コミュニケーション）乙(1) ※ 150 英語（総合）甲(1) ※ 150 英語（総合）乙(1) ※ 150 入門英語 II A(1) ※ 150 入門英語 II B(1) ※ 300 日本語 III(2) 外国人留学生のみ ※ 300 日本語 IV(2) 〃 200 インテンシブ・イングリッシュ(3) 200 英語中期留学マウント・アリソン大学 I (5) 200 英語中期留学マウント・アリソン大学 II (4) 200 英語中期留学マウント・アリソン大学 III (4) 200 英語中期留学クイーンズ大学 I (3) 200 英語中期留学クイーンズ大学 II (5) 200 英語中期留学クイーンズ大学 III (5) 200 英語中期留学トロント大学スピーキング(3) 200 英語中期留学トロント大学 I (5) 200 英語中期留学トロント大学 II (5) 200 英語中期留学ニュー・サウスウェルズ大学 I (4) 200 英語中期留学ニュー・サウスウェルズ大学 II (4) 200 英語中期留学ニュー・サウスウェルズ大学 III (4) 200 英語中期留学オックスフォード大学 I (8) 200 英語中期留学オックスフォード大学 II (8) 200 英語中期留学ゲルフ大学 I (6) 200 英語中期留学ゲルフ大学 II (6) 200 英語中期留学ネブラスカ大学 I (7) 200 英語中期留学ネブラスカ大学 II (7) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 I (4) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 II (4) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学 III (3) 200 英語中期留学クイーンズランド大学 I (4) 200 英語中期留学クイーンズランド大学 II (4) 200 英語中期留学クイーンズランド大学 III (4) 200 英語中期留学マラヤ大学 I (3) 200 英語中期留学マラヤ大学 II (3) 200 英語中期留学マラヤ大学 III (3) 200 英語中期留学ソノマ州立大学 I (7) 200 英語中期留学ソノマ州立大学 II (7) 200 英語中期留学レスター大学 I (3) 200 英語中期留学レスター大学 II (9) 200 英語中期留学ワイカト大学 I (5) 200 英語中期留学ワイカト大学 II (5) 200 英語中期留学ワイカト大学 III (6) 200 英語中期留学ハワイ大学マノア校 I (7) 200 英語中期留学ハワイ大学マノア校 II (1科目5又は7) 200 英語中期留学チェンマイ大学 I (8) 200 英語中期留学チェンマイ大学 II (8)	150 ドイツ語中級 A 甲(1) 150 ドイツ語中級 A 乙(1) 150 ドイツ語中級 B 甲(1) 150 ドイツ語中級 B 乙(1) 200 ドイツ語インテンシブ初級 II (3) 学則第24条 「言語教育科目」群	※ 100 文献講読 A (2) ※ 100 文献講読 B (2)	※ 200 キリスト教の歴史(宗教改革以降)(2) ※ 200 キリスト教と芸術概論 I (2) ※ 200 キリスト教教理の体系 I (2)	200 旧約聖書時代史(2) 300 プロテスタント神学概論(2) 300 キリスト教の実践的課題 A(2) 200 新約聖書ギリシャ語 II (2) 200 聖書ヒブル語 I (2) 200 聖書ヒブル語 II (2)	300 新約聖書ギリシャ語 III(2) 300 英語専門書講読 A (2) 300 英語専門書講読 B (2) 300 ドイツ語専門書講読 A(2) 300 ドイツ語専門書講読 B(2)				※ 300 教会学概論(2) ※ 300 礼拝学概論(2) ※ 300 説教学概論(2)	300 旧約聖書の解釈 A (2) 300 旧約聖書の解釈 B (2) 300 新約聖書の解釈 A (2) 300 新約聖書の解釈 B (2)			400 国際政治論 B (2) 400 国際法総論 B (2)		(学校図書館司書教諭課程関連科目) 300 学校経営と学校図書館(2) 300 学校図書館メディアの構成(2) 300 学習指導と学校図書館(2) 300 読書と豊かな人間性(2) 300 情報メディアの活用(2) (国形・バカロレア教員養成プログラム関連科目) 300 IB 教育実践研究(2)	
	伝道者コース										※ 300 教会学概論(2) ※ 300 礼拝学概論(2) ※ 300 説教学概論(2)	300 旧約聖書の解釈 A (2) 300 旧約聖書の解釈 B (2) 300 新約聖書の解釈 A (2) 300 新約聖書の解釈 B (2)			400 国際政治論 B (2) 400 国際法総論 B (2)		(学校図書館司書教諭課程関連科目) 300 学校経営と学校図書館(2) 300 学校図書館メディアの構成(2) 300 学習指導と学校図書館(2) 300 読書と豊かな人間性(2) 300 情報メディアの活用(2) (国形・バカロレア教員養成プログラム関連科目) 300 IB 教育実践研究(2)			
第3学年	両コース共通		200 人権とキリスト教 A (2) 200 人権とキリスト教 B (2)					300 論述・提案技能演習(2)		300 聖書ヒブル語 III(2)	※ 400 研究演習 A (2) ※ 400 研究演習 B (2)		300 教父学 A (2) 300 教父学 B (2) 300 キリスト教と表象文化 A (2) 300 キリスト教と表象文化 B (2) 300 現代神学 A (2) 300 現代神学 B (2) 300 現代神学の諸問題 A (2) 300 現代神学の諸問題 B (2) 300 エキュメニズムと宣教の神学(2) 300 キリスト教教育 A (2) 300 キリスト教教育 B (2) 300 賛美歌学(2) 300 教会カウンセリング(2) 300 哲学とキリスト教 A (2) 300 哲学とキリスト教 B (2) 300 現代思想とキリスト教 A (2) 300 現代思想とキリスト教 B (2) 300 応用倫理とキリスト教 A (2) 300 応用倫理とキリスト教 B (2) 300 キリスト教と諸宗教 A (2) 300 キリスト教と諸宗教 B (2) 300 対人援助技術演習 A (2) 300 対人援助技術演習 B (2) 300 ディアコニア・ワークショップ A(2) 300 ディアコニア・ワークショップ B(2) 400 ヘブライ語聖書原典講読 A(2) 400 ヘブライ語聖書原典講読 B(2) 400 ヘブライ語聖書原典講読 C(2) 400 ヘブライ語聖書原典講読 D(2) 400 新約聖書原典講読 A (2) 400 新約聖書原典講読 B (2) 400 新約聖書原典講読 C (2) 400 新約聖書原典講読 D (2) 400 キリスト教社会実習(2)			400 国際政治論 B (2) 400 国際法総論 B (2)				
	伝道者コース										※ 400 研究演習 C (2) ※ 400 研究演習 D (2)		400 ディアコニア・ワークショップ C (2) 400 ディアコニア・ワークショップ D (2)			400 教職実践演習(中・高)(2) 400 教育実習 A (5) 400 教育実習 B (3)				
第4学年	両コース共通																			
卒業必要 単位数	伝道者コース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6 単位	8 単位	—	30 単位						
	思想・文化コース	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	44 単位						
124 単位	両コース共通	4 単位	4 単位	8 単位	8 単位	8 単位	—	22 単位	6 単位	—	8 単位	—	12 単位	—						

言語教育科目 ① 神学部開講科目の新約聖書ギリシャ語Ⅱ・Ⅲ、聖書ヒブル語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ラテン語Ⅰ・Ⅱを選択必修科目8単位とすることができる。
② 帰国生徒入学試験の資格で入学したものについては、語学力を勘案したうえで、上表必修8単位に該当する科目を別に定める。
③ 外国人留学生入学試験の出願資格で入学したものについては、第1外国語を日本語8単位とし、第2外国語として英語、ドイツ語8単位を修得しなければならない。ただし、母語をこれにあてることができない。

自由履修科目 ① 上表に定める科目の他に、全学および各学部が開講する科目のなかから、任意の科目を30単位（キリスト教伝道者コース）・44単位（キリスト教思想・文化コース）以上修得するものとする。
② 上表の必修科目・選択必修科目・選択科目を必要単位数を超えて修得した場合、それらの神学部開講科目を自由履修科目に算入することができる。
なお、①、②のうちで卒業単位に算入することのできない科目については、神学部内規において定める。

【注】 ① ※印の科目は必修科目
② () の数字は単位数
③ 不開講科目は、別途シラバスや開講科目表で確認すること

＜学則別表＞文学部文学言語学科教育課程表

2024年度版

[illegible]

- ※は全科目
- ・文学部開講言語教育科目の2言語を選択。各8単位、計16単位必修。
- ・文学部が開講する授業科目については、一度単位を修得した科目を再度履修することはない。ただし以下の授業科目を除く。
- (イ)心理臨床実習(同一学期に同一科目を2つ以上履修できない) (ロ)特殊講義科目、研究科目 (ハ)演習科目(申し出て許可を得たもの)
- ・学部第26条「教職等資格関連科目」第1項の授業科目の単位は自由履修科目の単位として、卒業に必要な単位に算入できる。ただし、学部第26条「教職等資格関連科目」の第2項、第3項の授業科目は卒業単位に算入できない。
- ・広域科目については文学部教育課程表(広域科目)に別途定める。
- ※1 2017年度以前入学生対象科目
※2 2018年度以前入学生対象科目
※3 2018年度以降入学生対象科目
※4 2019年度以降入学生対象科目

<学則別表> 社会学部教育課程表(社会学科) 2016年度以降入学生用

2024年度版

履修基準年度		第1学年度以上				第2学年度以上		第3学年度以上		第4学年度以上		卒業に必要な単位	
A群科目 (必修科目) 【合計】 44単位以上	キリスト教科目	100 キリスト教学A 100 キリスト教学B		外国大学科目 国内協定大学科目								4単位以上	フリーゾーン (←A群科目 および「B群科目 その他の」のうち 卒業に必要な単位」を 超過した科目、「C群科目」、 「他学部の科目」) 20単位以上
	言語教育科目 (必修)	100 English Communication A ① 100 English Communication B ① 100 English Communication C ① 100 English Communication D ① 150 スプリング・インテンシブ・イングリッシュ 200 インテンシブ・イングリッシュ ③ 100 入門英語ⅠA ① 100 入門英語ⅠB ①		外国大学科目 国内協定大学科目		200 英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ⑤(～2021年度) 200 英語中期留学マウント・アリソン大学Ⅰ④、Ⅱ④、Ⅲ④ 200 英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ③、Ⅱ⑤、Ⅲ⑤ 200 英語中期留学トロント大学スピーキング(～2018年度) 200 英語中期留学トロント大学スピーキング③ 200 英語中期留学トロント大学Ⅰ⑤、Ⅱ⑤ 200 英語中期留学スターリング大学Ⅰ⑦、Ⅱ⑥(～2018年度) 200 英語中期留学ニュー・サウス・ウェールズ大学Ⅰ④、Ⅱ④、Ⅲ④ 200 英語中期留学オックスフォード大学Ⅰ⑧、Ⅱ⑧ 200 英語中期留学ゲルフ大学Ⅰ⑦、Ⅱ⑦(～2020年度) 200 英語中期留学ゲルフ大学Ⅰ⑥、Ⅱ⑥ 200 英語中期留学ネブラスカ大学Ⅰ⑦、Ⅱ⑦ 200 英語中期留学ケンブリッジ大学Ⅰ③、Ⅱ③(～2018年度) 200 英語中期留学ケンブリッジ大学Ⅰ④、Ⅱ④、Ⅲ③ 200 英語中期留学クイーンズランド大学Ⅰ④、Ⅱ④、Ⅲ④ 200 英語中期留学マラヤ大学Ⅰ③、Ⅱ③、Ⅲ③ 200 英語中期留学ソノマ州立大学Ⅰ⑦、Ⅱ⑦ 200 英語中期留学レスター大学Ⅰ③、Ⅱ③ 200 英語中期留学ワイカト大学Ⅰ⑤、Ⅱ⑤、Ⅲ⑤ 200 英語中期留学ハワイ大学マノア校Ⅰ⑦、Ⅱ⑤、⑦、Ⅲ⑦ 200 英語中期留学チェンマイ大学Ⅰ⑧、Ⅱ⑧(～2021年度) 200 英語中期留学チェンマイ大学Ⅰ⑥、Ⅱ⑥					4単位以上		
		100 フランス語Ⅰ 100 フランス語Ⅱ 100 ドイツ語Ⅰ 100 ドイツ語Ⅱ 100 中国語Ⅰ 100 中国語Ⅱ 100 朝鮮語Ⅰ 100 朝鮮語Ⅱ 100 スペイン語Ⅰ 100 スペイン語Ⅱ 200 フランス語インテンシブ初級Ⅰ③ 200 ドイツ語インテンシブ初級Ⅰ③		外国大学科目 国内協定大学科目		200 フランス語Ⅲa ① 200 フランス語Ⅳa ① 200 フランス語Ⅲb ① 200 フランス語Ⅳb ① 200 ドイツ語Ⅲ 200 ドイツ語Ⅳ 200 中国語Ⅲ 200 中国語Ⅳ 200 朝鮮語Ⅲ 200 朝鮮語Ⅳ 200 スペイン語Ⅲ 200 スペイン語Ⅳ 200 フランス語インテンシブ初級Ⅱ③ 200 ドイツ語インテンシブ初級Ⅱ③ 200 フランス語中期留学Ⅰ⑥(～2021年度) 200 フランス語中期留学Ⅰ④、⑤ 200 スペイン語中期留学Ⅰ⑦					8単位以上		
		(外国人留学生) 200 日本語Ⅰ 200 日本語Ⅱ				(外国人留学生) 300 日本語Ⅲ 300 日本語Ⅳ							
	入門科目	100 社会学入門A 100 社会学入門B 100 社会調査入門A 150 社会調査入門B		外国大学科目 国内協定大学科目								8単位以上	
	演習科目	100 基礎演習A 100 基礎演習B		外国大学科目 国内協定大学科目		200 インターメディアイト演習 200 研究演習Ⅰ		300 研究演習Ⅱ④	400 研究演習Ⅲ④ 400 卒業論文④			20単位以上	
B群科目 (選択必修科目) 【合計】 60単位以上	リサーチ・メソッド科目	100 数理・データサイエンスのための基礎数学 200 データ分析(入門) 250 データ分析(基礎) 200 質的調査法		外国大学科目 国内協定大学科目		300 データ分析(応用) 300 フィールドワークの技法A(参与観察) 300 ディスカッション研究法 200 基礎心理統計		300 フィールドワークの技法A(～2019年度) 300 フィールドワークの技法A(資料収集) 300 メディア・コミュニケーション学研究法 300 応用心理統計	300 フィールドワークの技法A(インタビュー) 300 フィールドワークの技法B 200 心理調査法	6単位以上		専攻によつて定められた「専攻分野科目」より30単位以上	
	専攻分野科目	200 社会学原論A 200 社会学原論B 200 社会学史A 200 社会学史B 200 社会思想史A 200 社会思想史B 200 社会史A 200 社会史B 200 歴史社会学 200 知識社会学 200 家族社会学A 200 家族社会学B 200 宗教社会学A 200 宗教社会学B 200 文化社会学A 200 文化社会学B 200 法社会学A 200 法社会学B 200 政治社会学A 200 政治社会学B 200 都市社会学A 200 都市社会学B 200 地域社会学A 200 地域社会学B 200 村落社会学 200 コミュニティ論 200 環境社会学A 200 環境社会学B 200 リスクの社会学 200 科学・技術の社会学 200 教育社会学 200 スポーツ社会学 200 現代社会と健康・医療A 200 現代社会と健康・医療B 200 現代社会論A 200 現代社会論B 200 比較社会論A 200 比較社会論B 200 国際社会学 200 グローバリゼーション論 200 経済社会学 200 産業社会学 200 組織社会学 200 経営社会学 200 労使関係の社会学 200 クリア・スタディーズ 200 仕事の社会学 200 情報社会学 200 人口動態の社会学 200 数理社会学 200 計量社会学 200 社会意識論 200 社会階層論(～2019年度) 200 格差の社会学 100 データ社会学への招待 200 ソーシャル・ネットワーク論 200 ソーシャル・キャピタル論 200 社会運動論 200 災害社会学 200 人権・差別問題論A 200 人権・差別問題論B 200 社会問題論 200 障害学 200 福祉社会学 200 ケア社会学 200 医療社会学 200 身体技法論 200 ジェンダー論 200 セクシュアリティ論 200 学校の社会学 200 現代若者・子ども論 200 景観の社会学 200 記憶の社会学 200 文化資源の社会学 200 観光社会学 200 NPO/NGOの社会学 200 ボランティアの社会学 200 文化人類学A 200 現代民俗学A 200 現代民俗学B 200 現代民俗学B 200 社会言語学B 200 社会言語学B 200 キリスト教と文化 200 グローバル世界のキリスト教 200 文化解釈学 200 比較文化学 200 視覚文化研究 200 複数文化研究 200 食文化論 200 ミュージアム文化論 200 表象文化論A 200 バフナー・マンス文化論 200 ポピュラー音楽論 200 ファッション文化論 200 表象文化論B 200 表象文化論B 200 文化遺産論 200 文化遺産論 200 死生学と宗教 200 異文化コミュニケーション論 200 コミュニケーション論 200 マス・コミュニケーション論 200 ジャーナリズム論 200 情報メディア史 200 メディア文化論 200 メディア産業論 200 カルチュラル・スタディーズ 200 公共圏とメディア 200 ポピュラー・カルチャー論 200 広告文化論 200 メディア・リテラシーA 200 メディア・リテラシーB 200 ソーシャル・メディア論 200 パブリック・リレーションズ 200 社会心理学A 200 社会心理学B 200 グループ・ダイナミックス 200 意思決定の心理学 200 ゲーミング社会心理学 200 環境社会心理学 200 世論研究 200 メディア社会心理学 200 臨床社会心理学 200 文化心理学 100 心理学入門 300 Sociology in English A 300 Sociology in English B 300 Sociology in English C 300 Sociology in English D 300 Sociology in English E 300 Sociology in English F		300 フィールド社会学特論A 300 フィールド社会学特論B 300 フィールド社会学特論C 300 フィールド社会学特論D 300 データ社会学特論A 300 データ社会学特論B 300 データ社会学特論C 300 データ社会学特論D 300 フィールド文化学特論A 300 フィールド文化学特論B 300 フィールド文化学特論C 300 フィールド文化学特論D 300 フィールド文化学特論E 300 メディア・コミュニケーション学特論A 300 メディア・コミュニケーション学特論B 300 メディア・コミュニケーション学特論C 300 メディア・コミュニケーション学特論D 300 社会心理学特論A 300 社会心理学特論B 300 社会心理学特論C 300 社会心理学特論D 300 社会心理学特論E 200 基礎心理学実験 300 社会心理学実験 200 比較社会演習A 200 比較社会演習B 200 海外社会調査A① 200 海外社会調査B		300 社会学実習 注1 300 社会調査実習 注1 300 実験実習 注1							
		外国大学科目 国内協定大学科目				200 English Communication E ①(～2019年度) 200 English Communication F ①(～2019年度) 200 English Communication G ①(～2019年度) 200 English Communication H ①(～2019年度) 200 English Communication Advanced A ① 200 English Communication Advanced B ① 200 English Communication Advanced C ① 200 English Communication Advanced D ① 200 Practical English A ① 200 Practical English B ① 200 Practical English C ① 200 Practical English D ① 200 English Skills A ① 200 English Skills B ① 200 English Skills C ① 200 English Skills D ①				シキ ッ プ リ ア ゼ ミ ナ に 必 要 な 単 位 に 算 入 さ れ な い (2 0 1 7 年 度 以 前 の 学 生 外 ハ イ ン タ ー ン			
C群科目 (自由選択科目)	言語教育科目 (選択)	外国大学科目 国内協定大学科目										(最終頁参照)	
	言語教育科目(選択)												
	スポーツ科学・健康科学科目												
	情報科学科目												
C群科目 (自由選択科目)	AI活用人材育成科目												
	グローバルスタディーズ科目												
	ライフデザイン科目												
	基盤・学際科目												
	教職教科等関連科目	100 コンピュータ演習(基礎) 100 日本国憲法 100 心理学研究 100 日本史概説 100 アジア史概説 100 西洋史概説 100 地理学概論 100 憲法A(基本的人権総論) 100 宗教学 100 学習心理学(～2017年度) 100 学習心理学(学習・言語心理学) 100 社会学概説		外国大学科目	国内協定大学科目	200 地域と文化(人文地理学) 200 空間と社会(都市研究)(～2020年度) 注3 300 哲学概論A 200 空間と社会(風景研究)(～2020年度) 注3 200 社会地理学A 300 哲学概論B 200 社会地理学B 200 人間と環境(自然地理学) 300 国際法総論B 200 地誌A 200 地誌B 200 地誌C 200 地誌D 200 経済原論A 200 経済原論B 200 国際法総論A 200 政治学原論A 200 政治学原論B 200 国際政治論A 200 国際経済論 200 国際経済政策論 200 憲法B(基本的人権各論) 200 民法A 200 民法B 200 商法A 200 商法B		300 哲学概論A 300 哲学概論B 300 国際法総論B 300 国際政治論B			400 教育実習A⑤ 400 教育実習B③ 400 教職実践演習(中・高)	教職等関連科目は 卒業に必要な単位に 算入されない 注2	
	教職等関連科目	100 教職概論 100 教育原論 100 発達・学習過程論 100 学校教育論 100 IB概論 注5				200 教育課程論 200 道徳教育論 200 特別活動論 注4 200 教育方法基礎論 200 生徒指導論 注4 200 教育相談基礎論 200 人権教育論 200 環境教育論 200 特別支援教育概論 注5 200 特別活動・総合的な学習の時間の 指導法 注5 200 生徒指導・進路指導論 注5 300 社会・地理歴史科教育法 注5 300 地理歴史科教育法 注5 300 社会・公民科教育法 注5 300 公民科教育法 注5 200 IB教育方法論・評価論Ⅰ注5 200 IB教育方法論・評価論Ⅱ注5		300 社会・地理歴史科教育法 注4 400 教育実習A⑤ 300 地理歴史科教育法 注4 400 教育実習B③ 300 公民科教育法 注4 400 教職実践演習(中・高) 300 学校経営と学校図書館 300 学校図書館メディアの構成 300 学習指導と学校図書館 300 読書と豊かな人間性 300 情報メディアの活用 300 IB教育実践研究 注5					

注1: 科目名の後ろに①とある科目は1単位、③とある科目は3単位、④とある科目は4単位、⑤とある科目は5単位、⑥とある科目は6単位、⑦とある科目は7単位、⑧とあるのは8単位、⑨とあるのは9単位、⑩とある科目は12単位、⑪とある科目は13単位、その他の科目は2単位。

- ・研究演習に併設されている「社会学実習」「社会調査実習」「実験実習」は、通年で2単位。
- ・研究演習に併設されていない「社会調査実習」は、1学期につき週2コマ(時限)の授業で2単位。
- ・同一科目を複数の区分に重複して単位数計算することはできない。
- ・留学等の認定単位については、算入場所に十分注意すること。
- ・科目の単位修得年度または入学年度によって単位数が異なる場合があるので十分注意すること。
- ・科目名後の()内は開講年度

注2: 本表に記載されている科目については、「教職等関連科目」以外にも卒業単位に算入できない科目がある。卒業単位に算入できない科目の詳細については、社会学部内規第20条を参照のこと。

注3: 2017年度以前入学生対象科目

注4: 2018年度以前入学生対象科目

注5: 2019年度以降入学生対象科目

	基 礎 科 目 群						教 職 等 関 連 科 目 （学校図書館司庫教諭課程・ 国際バカロレア教育養成プログラム 関連科目含む）	他 開 校
	キリスト教科目	言 語 科 目	教養科目					
			教養教育科目	全学科目				
第1学年	100 キリスト教学A 2	190 英語Ⅰ A（L R） 1	190 哲学A 2	(裏面参照)	□ 190 教職概論 2			
	100 キリスト教学B 2	190 英語Ⅰ B（L R） 1	190 哲学B 2		□ 190 教育概論 2			
		190 英語Ⅰ A（S W） 1	190 倫理学A 2		□ 190 発達・学習過程論 2			
		190 英語Ⅰ B（S W） 1	190 倫理学B 2		□ 190 学校教育概論 2			
		190 フランス語AⅠ 1	190 倫理学A 2		190 英語学概論 2			
		190 フランス語AⅡ 1	190 倫理学B 2		190 英米文学概論 2			
		190 フランス語BⅠ 1	190 日本史A 2		190 英語実声学 2			
		190 フランス語BⅡ 1	190 日本史B 2		190 英会話(特)Ⅰ 2			
		190 ドイツ語AⅠ 1	190 東洋史A 2		190 異文化理解 2			
		190 ドイツ語AⅡ 1	190 東洋史B 2		190 日本史概説 2			
		190 ドイツ語BⅠ 1	190 西洋史A 2		190 アジア史概説 2			
		190 ドイツ語BⅡ 1	190 西洋史B 2		190 西洋史概説 2			
		190 中国語Ⅰ 2	190 日本文学A 2		190 地理学概論 2			
		190 中国語Ⅱ 2	190 日本文学B 2		190 社会学原論A 2			
		190 朝鮮語Ⅰ 2	190 ことばと文化A 2		190 社会学原論B 2			
		190 朝鮮語Ⅱ 2	190 ことばと文化B 2		190 社会学概説 2			
		190 スペイン語Ⅰ 2	190 芸術A 2		190 倫理学概論 2			
		190 スペイン語Ⅱ 2	190 芸術B 2		190 哲学概論 2			
		190 基礎英語Ⅰ A（L R） 1	190 心理学A 2		190 心理学概論「学習・習得心理」 2			
		190 基礎英語Ⅰ B（L R） 1	190 心理学B 2		190 宗教学 2			
		190 基礎英語Ⅰ A（S W） 1	190 地理学A 2		□ 190 I B概論 2			
		190 基礎英語Ⅰ B（S W） 1	190 地理学B 2					
		200 日本語Ⅰ 2	200 社会学A 2					
		200 日本語Ⅱ 2	200 社会学B 2					
			200 統計学A 2					
	第2学年	③ 200 キリスト教學講座A 2	200 英語Ⅱ A（L R） 1		190 統計学B 2	(裏面参照)	□ 200 特別支援教育概論 2	200 意識論・頭用論 2
		④ 200 キリスト教學講座B 2	200 英語Ⅱ B（L R） 1		190 数理の科学A 2		□ 200 教育課程論 2	200 英米文学作品研究Ⅰ 2
			200 英語Ⅱ A（S W） 1		190 数理の科学B 2		200 英語II A 教育法A 2	200 英米文学研究法 2
			200 英語Ⅱ B（S W） 1		190 自然現象の科学A 2		□ 200 英語II B 教育法B 2	200 言語論・形態論 2
			200 フランス語AⅢ 1		190 自然現象の科学B 2		□ 200 英語III A 教育法C 2	200 応用言語学 2
			200 フランス語AⅣ 1		190 物質の科学A 2		□ 200 英語III B 教育法D 2	200 英話史 2
			200 フランス語BⅢ 1		190 物質の科学B 2		□ 200 社会・地理歴史科教育法 2	200 著作文(特) 2
			200 フランス語BⅣ 1		190 生命の科学A 2			200 英会話(物)Ⅱ 2
			200 ドイツ語AⅢ 1		190 生命の科学B 2		□ 200 社会・公民科教育法2	200 地域と文化
			200 ドイツ語AⅣ 1				□ 200 地理歴史科教育法 2	(人文地理学) 2
			200 ドイツ語BⅢ 1				□ 200 公民科教育法 2	200 社会地理学A 2
			200 ドイツ語BⅣ 1		◎ 200 人文演習A 2		□ 200 道徳教育論 2	200 社会地理学B 2
			200 中国語Ⅲ 2		◎ 200 人文演習B 2		□ 200 特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2	200 経済地理学A 2
			200 中国語Ⅳ 2		200 英語圏文化論 2			200 経済地理学B 2
			200 朝鮮語Ⅲ 2				□ 200 教育方法基礎論 2	200 人間と環境
		200 朝鮮語Ⅳ 2		□ 200 生涯学習・通路指導論 2	(自然地理学) 2			
		200 スペイン語Ⅲ 2		◆ 200 教育相談基礎論 2	200 地誌A 2			
		200 スペイン語Ⅳ 2	□ 200 環境教育論 2	200 教育相談基礎論 2	200 地誌B 2			
		200 基礎英語Ⅱ A（L R） 1		(情報通信技術の活用を含む)	200 地誌C 2			
		200 基礎英語Ⅱ B（L R） 1		□ 200 人権教育論 2	200 地誌D 2			
		200 基礎英語Ⅱ A（S W） 1		□ 200 環境教育論 2	200 環境・資源・経済学 2			
		200 基礎英語Ⅱ B（S W） 1		200 イギリス文学史A 2	□ 200 I B教育方法論・評価論Ⅰ 2			
		200 日本語Ⅲ 2		200 イギリス文学史B 2	□ 200 I B教育方法論・評価論Ⅱ 2			
		200 日本語Ⅳ 2		200 アメリカ文学史A 2				
第3学年					200 英米文学作品研究Ⅱ 2			
					200 英米文学資料研究 2			
					190 イギリス文学			
					特殊講義 2			
				190 アメリカ文学				
				特殊講義 2				
				190 実践英語学特選講義 2				
				英語(特)Ⅲ 2				
				□ 200 学校経営と学校図書館 2				
				□ 200 学校図書館プログラムの構成 2				
				□ 200 学習指導と学校図書館 2				
				□ 200 読書と豊かな人間性 2				
				□ 200 情報リテラシーの活用 2				
				□ 200 I B教育実践研究 2				
	第4学年				□ 400 教育実習A 5			
					□ 400 教育実習B 3			
	卒業必要単位数	キリスト教学A およびキリスト教学B計4単位	必修外国語 8単位 選択必修外国語 8単位 計 16単位		□ 400 教職実践演習(中・高) 2			
計４０単位（□の科目は								

専 門 科 目 群						
コース専門科目						
特修コース		司法・ビジネスコース		グローバル法政コース		公共政策コ （経済学部・法学
						200 議員インターン
憲法C（統治機構論）	2	300 会社法A	4	300 憲法C（統治機構論）	2	300 憲法C（統治
憲法訴訟論	2	400 会社法B	2	300 憲法訴訟論	2	300 行政法概論
行政法概論	2	400 民事訴訟法	4	300 刑事訴訟法A（捜査法）	2	300 行政作用法
行政作用法	2	400 民事執行法	2	300 刑事政策A	2	400 国家補償法
国家補償法	2	400 倒産処理法	2	300 物権法	4	400 地方自治法
行政争訟法	2	300 労働法概論	2	300 債権総論	4	400 環境法
地方自治法	2	300 英米法A	2	300 債権各論	4	400 社会保障法
環境法	2	300 行政学B	2	300 不法行為法	2	300 政治学原論
刑法総論	2	400 地方自治論	2	300 消費者と法	2	300 行政学B
刑法各論	2	300 公共政策論	2	300 司法書士による法律実務入門	2	400 地方自治論
刑事訴訟法A（捜査法）	2	300 公共政策学概論	2	300 企業法務入門	2	400 公共政策論
刑事訴訟法B（証拠、公判）	2	300 地域政策論	2	300 会社法A（簿記）	2	400 公共政策学#
物権法	4	300 財政学A	2	300 企業会計入門B（財務諸表）	2	300 NPO／NGO
担保物権法	2	300 財政学B	2	300 経営学	2	300 地域政策論
債権総論	4	300 公共経済学	2	300 会社法A	4	300 財政学A
債権各論	4	300 法曹入門	2	300 民事訴訟法概論	2	300 財政学B
不法行為法	2	300 企業法務特修入門	2	300 労働法概論	2	300 財政トピック
親族法	2	300 公務特修入門	2	350 西洋法史A	2	300 地方財政論
相続法	2	◎ 350 民法発展演習	2	350 西洋法史B	2	300 地域経済論
消費者と法	2	◎ 350 憲法発展演習	2	350 日本近代法史A	2	300 都市経済論
企業法務入門	2	◎ 350 刑法発展演習	2	350 日本近代法史B	2	300 公共経済学
企業会計入門A（簿記）	2	◎ 350 民事訴訟法発展演習	2	300 英米法A	2	300 NPO／NGOと市民社会
企業会計入門B（財務諸表）	2	◎ 350 公共政策発展演習	2	300 国際政治経済論	2	300 社会保障論
経営学	2	◎ 350 法曹特修実践演習A	2	300 国際機構論	2	300 社会保障論データ
商法総則・商行為法	2			300 外交史A	2	300 自治体経営論
				300 外交史B	2	◎ 300 地域政策演習#
				300 西洋政治史	2	◎ 300 地域政策演習
				300 国際経済政策	2	◎ 300 海外フィールドワーク演習
						◎ 300 海外フィールドワーク演習
						◎ 300 海外フィールドワーク演習
						◎ 300 海外フィールドワーク演習
税法A	2	400 税法A	2	400 国際法総論B	2	400 行政争訟法
税法B	2	400 税法B	2	400 国際法各論A	2	400 都市法
知的財産法A	2	400 刑法総論	2	400 国際法各論B	2	400 自治体法務
知的財産法B	2	400 刑法各論	2	400 国際人権法	2	400 現代政治分
海商法	2	400 刑事訴訟法B（証拠、公判）	2	400 親族法	2	400 政策評価論
保険法	2	400 刑事政策B	2	400 相続法	2	400 地域政策トピ
有価証券法	2	400 司法福祉	2	400 国際私法A	2	◎ 450 公共政策実
金融商品取引引	2	400 担保物権法	2	400 国際私法B	2	◎ 450 公共政策実
国際私法A	2	400 親族法	2	400 国際取引法A	2	
国際私法B	2	400 相続法	2	400 国際取引法B	2	
国際取引法A	2	400 知的財産法A	2	400 国際経済法	2	
国際取引法B	2	400 知的財産法B	2	350 法理学A	2	
国際経済法	2	400 商法総則・商行為法	2	350 法理学B	2	
労働法A	2	400 会社法B	2	350 法思想A	2	
労働法B	2	400 海商法	2	350 法思想B	2	
経済法	2	400 保険法	2	350 東洋法史A	2	
英米法B	2	400 有価証券法	2	350 東洋法史B	2	
中国法A	2	400 金融商品取引法	2	350 ローマ法A	2	
中国法B	2	400 国際私法A	2	350 ローマ法B	2	
都市法	2	400 国際私法B	2	400 英米法B	2	
自治体法務	2	400 国際取引法A	2	400 E U法	2	
地域政策トックス	2	400 国際取引法B	2	400 中国法A	2	
法曹特修実践演習B	2	400 国際経済法	2	400 中国法B	2	
法曹特修実践演習C	2	400 民事訴訟法	4	400 イスラームの法と社会		

§ 年度によって開講されない科目があるので注意すること。 § 教職免許取得に関しては、必ず入学年度の「教職課程等履修事項」で確認すること。なお下線の科目は政治学科科目であるが、法律学科生も履修可能。
§ 外国人留学生入学試験を受けて入学した者は、必修外国語を日本語とする。選択必修外国語については、母語以外の外国語を選択必修とする。

§ 韓国生徒入学試験を受けて入学した者の言語科目は、語学力を勘案したうえで、別に定める。

〈学則別表〉 経済学部教育課程表 (2021年度以降入学生)

〈備考〉・*印のついている科目は全学科目である。

・△印のついている科目は単位数制限外である。▲印のついている科目は制限内外が混在しているため事務室で確認すること。

・英語・フランス語・ドイツ語インテンシブプログラムの単位をもって、言語教育科目の必修・選択必修科目単位の一部に代えることができる。

・外国人留学生入学試験を受けて入学した者は、必修外国語を日本語とする。選択必修外国語については、母語以外の外国語を選択必修とする。

・国連・外交入門（開発）、国連・外交入門（平和・人権・人道）、グローバルキャリア開発演習、SDGs 実践特別演習、Career Seminar for International Organizations は MS 国連・外交プログラム履修許可者のみ履修可。

・◆印のついている科目は基盤・学際科目、専門科目、他学部専門教育科目のいずれかに算入される。

・教育課程表の科目は年度によって開講されない場合があるので注意すること。

履修基準年度		学 部 開 設										総 合 教 育 科 目		AI 活用人材育成科目		グローバルスタディーズ科目		ライフデザイン科目		基盤・学際科目				
キリスト教科目		言語教育科目										スポーツ科学・健康科学科目		情報科学科目		AI 活用人材育成科目		グローバルスタディーズ科目		ライフデザイン科目		基盤・学際科目		
1 年	100 キリスト教学 A	100 英語 I a	1	100 *基礎フランス語 I	1	100 *スポーツ科学講義 A	2	150 *コンピュータ実践	2	100 *AI 活用入門	2	300 * Language and Communication	2	100 キャリアデザインと仕事	2	学際科目群								
	100 キリスト教学 B	100 英語 I b	2	100 *基礎フランス語 II	1	100 *スポーツ科学講義 B	2	150 *プログラミング言語基礎	2	150 *AI 活用アプリケーションデザイン入門	2	300 * Culture and Society	2	100 日商簿記 3 級講座	2	100 *「開学」学	2							
		100 英語 I c	1	100 *基礎フランス語 III	1	100 *スポーツ科学講義 C	2	100 *文系系学生のための情報技術入門	2	150 *AI 活用データサイエンス入門	2	300 * Academic Writing and Presentation	2	200 日商簿記 2 級講座	4	100 *人権教育科目	2,4							
		100 英語 I d	1	100 *基礎フランス語 IV	1	100 *スポーツ科学講義 D	2	100 *情報技術概論	2	200 *AI 活用実践演習 A	2	300 * Project-based Seminar in English	2	200 ファイナンシャル・プランナー講座 I	4	100 *平和学「広島・長崎講座」	2,4							
		100 *入門英語 I A	1	150 *フランス語アラカルト（聞く・話す）A	1	100 *健康科学講義 A	2			(Java による Web アプリケーションデザイン)	2	150 *△海外学習活動（ドイフ）	2	200 ファイナンシャル・プランナー講座 II	4	100 *△平和学特別演習「ヒロシマ」	2							
		100 *入門英語 I B	1	150 *フランス語アラカルト（聞く・話す）B	1	100 *健康科学講義 B	2			200 *AI 活用実践演習 B	2	200 * English for Cross-Cultural Studies A	2	100 *ライフ・キャリア概論	2	100 *△原発問題特別演習「福島」	2							
		200 *スプリング・インテンシブ・イングリッシュ	2	150 *フランス語アラカルト（聞く・話す）C	1	100 *健康科学講義 C	2			(Python による機械学習・深層学習)	2	200 * English for Cross-Cultural Studies B	2	200 *KG キャリア入門	2	100 *災害復興学 A	2							
		200 *インテンシブ・イングリッシュ	2	300 *基礎ドイツ語 I	1	100 *体育方法学講義 A	2			200 *AI 活用実践演習 C	2	150 *△海外フィールドワーク	2	200 *ライフデザインと仕事	2	100 *災害復興学 B	2							
		250 *Skills-based English	1,2	100 *基礎ドイツ語 II	1	100 *体育方法学講義 B	2			(Web デザイン)	2	200 *国際情報分析	2	200 *ライフデザインと仕事 A	2	学際科目群								
		150 *Special English Seminar	1	100 *基礎ドイツ語 III	1	100 *体育方法学講義 C	2			200 *AI 活用機械学習プログラミング演習	2	300 *国際環境論	2	200 *ライフデザインと仕事 B	2	学際科目群								
2 年	100 英語 II A	1	100 *基礎ドイツ語 IV	1	100 *余暇生活学講義 A	2			200 *AI 活用 Web アプリケーションプログラミング演習	2	300 *教育問題論	2	200 *ライフ・キャリア入門演習	2	150 学際トピックス A～J	1-4								
	100 英語 II B	1	150 *ドイツ語アラカルト（聞く・話す）A	1	100 *余暇生活学講義 B	2					300 *国際平和構築論	2	200 *ライフ・キャリア実践演習	2	150 国内フィールドワーク実習	2								
	100 フランス語 I	2	150 *ドイツ語アラカルト（聞く・話す）B	1	100 *余暇生活学講義 C	2					200 *プロジェクトマネジメント I	2	250 *ライフ・キャリア リーダーシップ実習	2	200 *総合コース	2,4								
	100 フランス語 II	2	100 *ロシア語初級 I	1	100 *スポーツ科学演習 A	2					100 *世界市民論	2	250 *インターンシップ実習	1,2	100 *スタディスキルセミナー	2,4								
	200 *フランス語インテンシブ初級 I	3	100 *ロシア語初級 II	1	100 *スポーツ科学演習 B	2					150 *グローバルゼミ A	2	200 *キャリアアゼミ	2	100 *寄附講座	2,4								
	100 ドイツ語 I	2	100 *ロシア語初級 III	1	100 *スポーツ科学演習 C	2					200 *△日本文化総論	2	200 *キャリアアゼミ A	2	100 *△原発問題特別演習「福島」	1-4								
	200 ドイツ語 II	2	100 *イタリア語初級 I	1	100 *スポーツ科学演習 D	2					100 *日本政治総論	2	250 *キャリアゼミ B	2	200 *香西市大学共通単位講座	1,2								
	200 *ドイツ語インテンシブ初級 I	3	100 *イタリア語初級 II	1	100 *スポーツ科学演習 E	2					100 *日本史概略	2	250 *キャリアゼミ C	2	100 *社会探究入門	2								
	100 中国語 I	2	150 *イタリア語初級 III	1	100 *スポーツ科学演習 F	2					200 *日本企業文化論	2	250 *△災害が関心テーマ	2	100 *△社会探究入門	2								
		100 中国語 II	2	100 *スペイン語初級 I	1	100 *健康科学演習 A	2					200 *△インドネシア交流セミナー A	2	200 *△社会探究リサーチ・ベージック A	2	100 *△社会探究入門	2							
3 年	100 朝鮮語 I	2	150 *スペイン語初級 II	1	100 *健康科学演習 B	2					200 *△インドネシア交流セミナー B	2	200 *△社会探究リサーチ・ベージック B	2	学際科目群									
	100 朝鮮語 II	2	150 *スペイン語初級 III	1	100 *健康科学演習 C	2					200 *△トルコ交流セミナー A	2	200 *△社会探究実習 I	2	学際科目群									
	100 スペイン語 I	2	200 *スペイン語中級	1	100 *健康科学演習 D	2					200 *△トルコ交流セミナー B	2	200 *△社会探究実習 II	2	学際科目群									
	100 スペイン語 II	2	100 *ポルトガル語初級 I	1	100 *健康科学演習 E	2					100 *△海外異文化体験セミナー	1	200 *△PBL 特別演習	2,4	学際科目群									
	200 *日本語 I	2	100 *ポルトガル語初級 II	1	100 *体育方法学演習 A	2					100 *カナダ研究入門 A	2	150 *△社会探究実践演習 I	4	学際科目群									
	200 *日本語 II	2	150 *ポルトガル語初級中級	1	100 *体育方法学演習 B	2					200 *カナダ研究入門 B	2	200 *△社会探究実践演習 II	4	学際科目群									
	英語読定科目	1-8	100 *アラビ語初級 I	1	100 *体育方法学演習 C	2					300 *Topics in Canadian Studies A	2	150 *△社会探究実践演習 III	4	学際科目群									
	フランス語読定科目	1-8	100 *アラビ語初級 II	1	100 *余暇生活学演習 A	2					300 *Topics in Canadian Studies B	2	200 *△社会探究実践演習 IV	4	学際科目群									
	ドイツ語読定科目	1-8	100 *アラビ語初級中級	1	100 *余暇生活学演習 B	2					300 *Topics in Canadian Studies C	2	250 *△ハンズオン・インターンシップ I	2	学際科目群									
	中国語読定科目	1-8	100 *基礎中国語 I	1	100 *余暇生活学演習 C	2					300 *Topics in Canadian Studies D	2	250 *△ハンズオン・インターンシップ II	2	学際科目群									
朝鮮語読定科目	1-8	100 *基礎中国語 II	1	100 *余暇生活学演習 D	2					100 *△国際研究入門	2	250 *△ハンズオン・インターンシップ III	2	学際科目群										
スペイン語読定科目	1-8	150 *基礎中国語 III	1	100 *余暇生活学演習 E	2					100 *グローバルスタディーズ入門	2	250 *◆国内協定大学科目	6	学際科目群										
4 年		150 *基礎中国語 IV	1	100 *余暇生活学演習 F	2					100 *留学とキャリア設計	2	100 *△国際研究マウント・アリソン大学	3	250 *△ハンズオン・アドバンスト I	2	学際科目群								
		200 *中国語中級	1							300 *International Scholar' s Topics A	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 II	3	250 *△ハンズオン・アドバンスト II	2	学際科目群								
		100 *朝鮮語初級 I	1							300 *International Scholar' s Topics B	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 III	3			学際科目群								
		100 *朝鮮語初級 II	1								200 *CCC Introduction to Multicultural Studies	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 IV	3			学際科目群							
		100 *朝鮮語初級 III	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 V	3			学際科目群							
		200 *朝鮮語中級	1								150 *△CCC Cross-Cltural Workshop	3	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 VI	3			学際科目群							
		100 *インドネシア語初級 I	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 VII	3			学際科目群							
		100 *インドネシア語初級 II	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 VIII	3			学際科目群							
		150 *インドネシア語初級中級	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 IX	3			学際科目群							
		100 *日本語初級 I	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 X	3			学際科目群							
5 年		100 *日本語初級 II	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 II	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 III	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XIV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 IV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 V	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XVI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 VI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XVII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 VII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XVIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 VIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XIX	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 IX	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XX	3			学際科目群							
6 年		200 *日本語中級 X	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXIV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XIV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXVI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XVI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXVII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XVII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXVIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XVIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXIX	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XIX	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXX	3			学際科目群							
7 年		200 *日本語中級 XX	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXIV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXIV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXVI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXVI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXVII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXVII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXVIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXVIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXIX	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXIX	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXX	3			学際科目群							
8 年		200 *日本語中級 XXX	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXIII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXIII	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXIV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXIV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXV	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXV	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXVI	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXVI	1								200 *CCC Introduction to International Relations	2	200 *△国際研究マウント・アリソン大学 XXXXVII	3			学際科目群							
		200 *日本語中級 XXXVII	1								200 *CCC													

履修基準年度	経済学部開設専門教育科目								教職等資格科目				
	専門導入科目		専門基礎科目		専門科目				教職等資格科目(1)		教職等資格科目(2)		
1年	100 経済学入門 2 100 経済数学入門 2 100 情報処理入門 2 ----- 100 経済データ分析入門 2 (2023年度以降入学生) -----	200 ミクロ経済学A 2 200 ミクロ経済学B 2 200 マクロ経済学A 2 200 マクロ経済学B 2 200 計量経済学A 2 200 計量経済学B 2 200 経済の歴史と思想 2	100 言語と文化 2 100 地域政策入門A 2 100 地域政策入門B 2 150 △海外学習活動 1~4 *外国大学科目 1~8 *◆国内協定大学科目 1~8	200 経済事情A～O 2 (2023年度以降入学生)					100 倫理学概論 2 100 哲学概論 2 100 宗教学 2 100 学習心理学(学習・言語心理学) 2 100 日本史概説 2 100 アジア史概説 2 100 西洋史概説 2 100 地理学概論 2 100 英語講読A 1 100 英語講読B 1 100 英米文学概論 2 100 英語学概論 2 100 英語音声学 2 100 異文化理解 2 100 英会話(特)Ⅰ 2 100 憲法A(基本的人権総論) 2 100 日本国憲法 2		100 △教職概論 2 100 △教育概論 2 100 △発達・学習過程論 2 100 △学校教育論 2 100 △ⅠB概論 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
2年			200 経済統計学A 2 200 経済統計学B 2 200 計量経済分析 2 200 経済情報処理 2 200 社会思想史A 2 200 社会思想史B 2 200 経済史A 2 200 経済史B 2 200 日本経済史Ⅰ 2 200 外国経済史Ⅰ 2 200 財政学A 2 200 財政学B 2 200 金融論A 2 200 金融論B 2 200 現代産業論A 2 200 現代産業論B 2 200 産業組織論 2 200 産業組織論とその応用 2 200 農業経済論A 2 200 農業経済論B 2 200 アンソレプレナークシップの経済学 2 200 都市経済論 2 200 環境・資源経済学 2 200 社会政策A 2 200 社会政策B 2 200 労働経済学A 2 200 労働経済学B 2 200 国際経済学 2 200 国際経済政策 2 200 開発経済学 2 200 アジア経済論A 2 200 プレ演習 2 200 行政法概論 2 200 行政作用法 2 300 国内フィールドワーク演習A(公共政策) 1 300 国内フィールドワーク演習B(公共政策) 1 300 国内フィールドワーク演習C(公共政策) 2 300 国内フィールドワーク演習D(公共政策) 4 300 公共政策論 2 300 公共政策学概論 2 200 行政学B 2 200 NPO/NGOと市民社会 2 200 地域政策論 2 ----- 200 PBL データ分析 2 (2023年度以降入学生)	200 地域政策演習A 2 200 地域政策演習B 2 200 市場と制度の経済学A 2 200 市場と制度の経済学B 2 200 近代経済学史A 2 200 近代経済学史B 2 200 現代日本経済史 2 200 現代外国経済史 2 200 ファイナンス論 2 200 企業金融論 2 200 財政トビックス 2 200 地方財政論 2 200 流通経済論A 2 200 流通経済論B 2 200 競争政策A 2 200 競争政策B 2 200 地域経済論 2 200 公共経済学 2 200 公共政策論 2 200 社会保障論A 2 200 社会保障論B 2 200 アジア経済論B 2 200 自治体経営論 2 200 地域データ分析 2 200 関西経済論 2 200 経済地理学A 2 200 経済地理学B 2 200 人口経済学A 2 200 人口経済学B 2 200 契約の経済学 2 200 発展契約の経済学 2 200 家計経済学Ⅰ 2 200 家計経済学Ⅱ 2 200 イノベーションの経済学 2 300 社会科学概論A 1 300 社会科学概論B 1 200 数理統計 2 400 経済学史A 2 400 経済学史B 2 400 日本経済史Ⅱ 2 400 外国経済史Ⅱ 2 ----- 400 Rによるデータ分析 2 (2023年度以降入学生)	400 金融政策論 2 400 金融機関論 2 400 資本市場論 2 400 発展産業組織論 2 400 規制経済論 2 400 発展労働経済学A 2 400 発展労働経済学B 2 400 発展国際経済学 2 400 発展国際経済政策 2 400 発展開発経済学 2 300 Topics in Economics (in English) A～J 2 400 Japanese and Asian Economies A 2 400 Japanese and Asian Economies B 2 300 US Economy 2 200 US Innovation System 2 300 国家補償法 2 300 地方自治法 2 300 環境法 2 300 社会保障法 2 200 地方自治論 2 200 英語経済学講読A 2 200 英語経済学講読B 2 200 経済学トビックスA～O 2 300 現代社会論A 2 300 現代社会論B 2 200 民法A 2 200 民法B 2 200 商法A 2 200 商法B 2 300 経営学A 2 300 経営学B 2 200 会計学A 2 200 会計学B 2 200 国際金融論Ⅰ 2 200 国際金融論Ⅱ 2 200 コーポレートファイナンス 2 200 発展環境経済学 2 400 発展資源経済学 2 ----- 200 経済事情A～O 2 (2022年度以前入学生)	200 地誌A 2 200 地誌B 2 200 地誌C 2 200 地誌D 2 200 地域と文化(人文地理学) 2 200 社会地理学A 2 200 社会地理学B 2 200 人間と環境(自然地理学) 2 200 英米文学研究法 2 200 イギリス文学史A 2 200 イギリス文学史B 2 200 アメリカ文学史A 2 200 アメリカ文学史B 2 200 英語史 2 200 音韻論・形態論 2 200 応用言語学 2 200 英語(特) 2 200 英作文(特) 2 200 英会話(特)Ⅱ 2 200 憲法B(基本的人権各論) 2 200 国際法総論A 2 200 政治学原論A 2 200 政治学原論B 2 200 国際政治論A 2	2 						

— 41 —

(注1) *印科目は全学科目(全学にわたって開講する科目)である。
(注2) 言語教育科目の取り扱いに関しては、『履修の手引き』を参照すること。
(注3) 商学演習の履修は第1学年に限る。
(その他) 年度によって開講されない科目があるので注意すること。

＜学則別表＞ 総合政策学部教育課程表

2024年 4 月

学 年		1 年 次※1				2 年 次※1				3 年 次※1				4 年次※1		卒業必要単位数：128単位			
科 目 区 分																			
共通教育科目	キリスト教科目	100キリスト教学A 2		100キリスト教学B 2										4		自由選択科目（各科目区分の卒業必要単位数を超えて修得した科目、他学部開講科目、全学科目） 22			
	言語教育科目	100 English Communication I 4 150 English Communication IV 4 150 English Communication II (International Student) 2		100 English Communication II 4 100 English Communication I (International Student) 2 100 English Communication III (International Student) 2		150 English Communication III 4 100 English Communication IV (International Student) 2 100 English Communication II (International Student) 2		200 English Communication V 4 200 English Communication VI (International Student) 2 200海外社会体験実習（オーストラリア） 5又は6 200海外社会体験実習（タイ） 1 350国連ユースボランティア課題研究 4		200 English Communication VI 4 200海外社会体験実習（マレーシア） 4 350国際社会貢献課題研究 4 200英語中期留学で認定される単位 ※具体的な科目名は本冊子 P. 64参照		200 English Communication V (International Student) 2 200海外社会体験実習（マレーシア） 4 350国際社会貢献課題研究 4		16 (外国人留学生) 8					
		100日本語Ⅰ 2		100日本語Ⅱ 2		150日本語Ⅲ 2		150日本語Ⅳ 2		200日本語Ⅴ 2		8 (外国人留学生) 8							
		100フランス語Ⅰ 2 100ドイツ語Ⅱ 2 100中国語Ⅰ 2		100フランス語Ⅱ 2 100スペイン語Ⅰ 2 100中国語Ⅱ 2		100ドイツ語Ⅰ 2 100スペイン語Ⅱ 2 250 English Communication Advanced Topics 1		150フランス語Ⅲ 2 150ドイツ語Ⅳ 2 150中国語Ⅲ 2		150フランス語Ⅳ 2 150中国語Ⅳ 2		4							
		<外国大学科目：在学中に交換留学等で単位を修得した場合に単位認定する> <国内協定大学科目：在学中に関西学院大学・上智大学の学生交流協定に基づく留学で単位を修得した場合に単位認定する>																	
	言語・文化・表現	100 Introduction to The World of English 2		100 Introduction to Communication 2		100 日本語文章表現 2		200現代ジャーナリズム論 2		200日本学総論 2		200身体コミュニケーション実習 1		250 English Professional Writing A 1 250 English Public Speaking B 1 250 English Public Speaking A 1			2 ※2		
	数理・統計・調査	100総合政策のための数学 2 100統計学Ⅱ 2		100数理科学の基礎 2		100統計学Ⅰ 2		200データ解析A 2 200データ解析D 2		200データ解析B 2 200社会調査法 2		200データ解析C 2		250 English Professional Writing B 1 250 ビジネス実践英語 1			2		
	情報	100コンピュータ演習Ⅰ 1 100プログラミング基礎 1		100コンピュータ演習Ⅱ 1		150コンピュータ演習Ⅲ 1		200プログラミング演習（C） 1 200 Web Programming 2		200プログラミング演習（JAVA） 1 200 ネットワーク初級 2		200プログラミング演習（VB） 1 250 ネットワーク中級演習 4		300ネットワーク上級演習 2			2		
	学部導入	100総合政策A 2		100総合政策B 2		100ヒューマン・エコロジー 2											6		
	学 科 専 攻 科 目	総合政策							200総合政策演習 2										
		メディア情報	100メディア情報入門 2						200メディア制作演習（意思決定） 2 200 Seminar in Media Work (Media Processing) 2 200メディア制作演習（社会課題とICT） 2 200メディア制作演習（データ分析） 2		200メディア制作演習（シミュレーション） 2 200メディア制作演習（メディアの実践） 2 200メディア制作演習（社会情報デザイン） 2 200メディア制作演習（環境化ソリューション） 2		200メディア制作演習（映像表現） 4 200メディア制作演習（システムデザイン） 2 200メディア制作演習（環境化ソリューション） 2				2 ※3		
		都市政策	100都市政策入門 2						200都市政策演習 2										
		国際政策	100国際政策入門 2						200国際政策演習 2										
	専 門 基 礎 科 目	環境・自然科学系	100生命の科学 2 100環境倫理 2		100自然人類学 2 100科学倫理 2		100自然環境論 2 100科学と社会 2												
		公共政策・社会科学系	100法学概論 2 100日本国憲法 2 100社会学概論 2 100ヨーロッパ思想史 2		100民法概論 2 100経済学概論 2 100哲学概論 2 100アジア思想史 2		100政治学 2 100日本経済論 2 100倫理学概論 2 100社会福祉論 2												
		言語・文化系	100心理学概論 2 100民族と文化 2 100西洋史概説 2		100言語学概論 2 100日本史概説 2 100論理学 2		100文化人類学 2 100東洋史概説 2												
メディア情報系		100サイバー社会論 2 100アート&テクノロジー 2		100情報と社会 2 100メディア社会論 2		100情報化社会と人間 2 100システム論 2													
都市政策系		100地理学概論 2		100地誌学 2															
国際政策系		100戦後国際政治史 2 100アメリカ政治・経済論 2		100現代東アジア 2 100SDGs 実践入門 2		100グローバル・キャリアデザイン 2 100難民学入門 2													
共通		100総合政策トピックスA 2 100総合政策トピックスD 2		100総合政策トピックスB 2		100総合政策トピックスC 2													
学科共通科目		<外国大学科目：在学中に交換留学等で単位を修得した場合に単位認定する> <国内協定大学科目：在学中に関西学院大学・上智大学の学生交流協定に基づく留学で単位を修得した場合に単位認定する>						200会計学 2 200マクロ経済学 2 200戦略的思考と合意形成 2 200テレビ報道論 2 200 Basic Economics 2 350国連ユースボランティア実習 4又は8又は12		200経営学 2 200社会保障論 2 200マーケティング論 2 200 SDGs 経営論 2 200 English Linguistics 2 350国際社会貢献実習 4又は8又は12		200ミクロ経済学 2 200比較宗教思想論 2 200放送メディア論 2 200 SDGs 経営論 2 350国際社会貢献実習 12		300 Regional Development 2 300 N.G.O. 2 300プロジェクト管理論 2 300平和学 2 300英語音声学 2 400総合政策課題研究B 2		300リスク・コミュニケーション論 2 400ジェンダー論 2 300経営戦略論 2 300経営組織論 2 300国際企業論 2 300報道事例研究 2 400総合政策課題研究A 2			
専 門 科 目	総合政策学 科 科 目	環境政策 フィールド科目 ※4	200環境政策論 2 200環境法 2 200里山実習 2		200環境社会学 2 200 Ecological Policy 2		200環境経済学 2 200環境測定実習 2 300 Global Environmental Policy 2		400エコロジー政策課題研究A 2 300自然保護政策論 2 300 Global Environmental Policy 2		400エコロジー政策課題研究B 2 300資源循環型社会論 2 300資源エネルギー論 2		300生態環境論 2 300 International Environmental Policy 2 300資源エネルギー論 2		200 300生 2 200 300環境 2 200 300環境 2				
		公共政策 フィールド科目 ※4	200公共哲学 2 200財政学 2 200国際政治学 2		200公共経済学 2 200行政学 2 200 International Trade 2		200公共選択論 2 200国際関係論 2 200地方自治論 2		400公共政策課題研究A 2 400哲学思想課題研究B 2 300経済地理学 2 300家族福祉論 2 300国際金融論 2		400公共政策課題研究B 2 200行政法 2 300高齢者福祉論 2 300保健医療政策論 2 300都市財政論 2		400哲学思想課題研究A 2 300 Comparative Studies on Societies 2 200 300保健 2 200 300保健 2 200 300都市 2						
		言語文化政策 フィールド科目 ※4	200言語政策論 2 200日本語文化論 2 200英米文学B 2		200 Intercultural Communication 2 200 Comparative Culture 2		200文化政策論 2 200英米文学A 2		400コミュニケーション政策課題研究A 2 300英米文学C 2 300英語文化研究A 2 300社会言語学 2 300Semiotics 2		400コミュニケーション政策課題研究B 2 300英米文学D 2 300 English Communication Topics A 2 300英語文化研究B 2 300 Machine Learning and Intelligence 2		400比較言語文化研究A 2 300国際コミュニケーション論 2 300 English Communication Topics B 2 300 Studies in Multicultural Society 2 300 Global Englishes 2						
		メディア情報学科科目	200経営情報論 2 200メディア文化政策 2 200社会情報デザイン論 2		200メディア・リテラシー 2 200 The Web & Society 2		200データベース 2 200社会課題と ICT 2		400メディア情報課題研究A 2 300 Human&Machine Interaction 2 300意思決定科学 2 300知的財産戦略論 2 300ネットワークシステム論 2 300情報検索論 2		400メディア情報課題研究B 2 200知識情報処理 2 300サイバースペースの法と倫理 2 300社会モデル分析 2 300オペレーションズ・マネジメント 2 300編集デザイン演習 2		300コンピュータ・アート 2 200アーカイブ・デザイン 2 300情報セキュリティ 2 300 Machine Learning and Intelligence 2 200 300人工 2						
	都市政策学科科目	200都市政策論 2 200行政学 2 200地方自治論 2 200復興・防災論 2		200経営学 2 200財政学 2 200地域コミュニティ論 2		200公共経済学 2 200都市計画・都市環境論 2 200都市経済学 2		400都市政策課題研究A 2 200都市財政論 2 300GIS 演習Ⅱ 2 300政策コンサルティング演習 2 300ベンチャー経営論 2		400都市政策課題研究B 2 200保健医療政策論 2 300社会システム論 2 300ビジネス・イノベーション演習 2 200ベンチャーシニズム論 2		300都市政治学 2 200 GIS 演習Ⅰ 2 200 300社会 2 200 300経済 2 200 300ベン 2							
	国際政策学科科目	200国際発展政策 2 200国際政治学 2		200国際関係論 2 200国際関係史 2		200 International Trade 2 200 Culture and Thought 2		400国際発展政策課題研究A 2 300国際協力論 2 300国際公務員 2 300国際人権論 2 300 Global Environmental Policy 2		400国際発展政策課題研究B 2 200開発経済学 2 300国際公務員 2 300 International Environmental Policy 2 300 Comparative Studies on Societies 2		300国際機構論 2 300国際金融論 2 300外交政策 2 200 300資源 2 200 300 Studies 2							
	演習科目	100基礎演習 4 100フィールドワーク（国内中期） 8 100インターンシップ（国内短期） 1～8 100インターンシップ（海外中期） 1～8 100インターンシップ（海外短期） 1～8		100オフキャンパス実習 1又は2 100フィールドワーク（海外短期） 1～8 100インターンシップ（国内中期） 8 100インターンシップ（海外短期） 1～8		100フィールドワーク（国内短期） 1～8 100フィールドワーク（海外中期） 1～8 100インターンシップ（海外短期） 1～8		200 GCaP 演習 A 1 200 GCaP 演習 B 1 200総合政策特別演習 A 2		300研究演習Ⅰ 4 300 GCaP Seminar D 1 300総合政策特別演習 B 2		300メディア工房Ⅰ 4 300総合政策特別演習 B 2		400研究演習Ⅱ 4 400メディア工房Ⅱ 4 400卒業論文 4					
	教職等資格科目	100教職概論 2 100学校教育論 2		200教育原論 2 100 IB 概論 2		100発達・学習過程論 2		200教育課程論 2 200人権教育論 2 200特別活動・総合的な学習の時間の指導法 2 300英語科教育法B 2 300社会・地理歴史科教育法 2 300公民科教育法 2 200IB 教育方法論・評価論Ⅰ 2		200道徳教育論 2 200環境教育論 2 200生徒指導・進路指導論 2 300英語科教育法C 2 300社会・公民科教育法 2 200情報科教育法A 2 200IB 教育方法論・評価論Ⅱ 2		200教育相談基礎論 2 200特別支援教育概論 2 300英語科教育法D 2 300英語科教育法D 2 300地理歴史科教育法 2 300情報科教育法B 2		300学校経営と学校図書館 2 200読書と豊かな人間性 2 300情報メディアの活用 2 300学習指導と学校図書館 2 200 300IB 教育 2 400教育実習A 5 400教育実習B 3 400教職実践演習（中・高） 2					

【学則別表】 人間福祉学部教育課程表（2021年度以降入学生）

履修基準年度	総合教育科目				専門教育科目								自由選択科目	
	キリスト教科目	言語教育科目		教養教育科目	研究演習・卒業研究	区分	社会福祉学科		社会起業学科		人間科学科			
		一般学生	外国人留学生											
第1学年	●100 キリスト教学A ●100 キリスト教学B	2 2	●100 英語講読A ●100 英語講読B ●100 英語表現A ●100 英語表現B ○100 英語コミュニケーションⅠ ○100 英語コミュニケーションⅡ ○100 フランス語Ⅰ ○100 フランス語Ⅱ ○100 ドイツ語Ⅰ ○100 ドイツ語Ⅱ ○100 中国語Ⅰ ○100 中国語Ⅱ ○100 朝鮮語Ⅰ ○100 朝鮮語Ⅱ ○100 スペイン語Ⅰ ○100 スペイン語Ⅱ ○100 日本手話Ⅰ ○100 日本手話Ⅱ — 外国大学科目 (1科目各1～8単位)	1 1 1 1 2 										

- XII 国際学部**
教育課程表【2023年度以降入学生用】

【合計 124 単位以上】

理学部 数理科学科 教育課程表(2021年度以降入学生用)

履修基準年度				総合教育科目				専門教育科目												履修制限		
				キリスト教科目		英語教育科目		総合選択科目		必修科目		基礎科目		コンピュータ科目		発展科目		専門選択科目				
				科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数			
4年	3年	2年	1年	100 キリスト教学A	2	100 英語リーディングⅠA	1	100 ドイツ語読解Ⅰ	1	100 微分積分Ⅰ	4	100 数学入門演習	2	100 コンピュータ演習A	2			100 情報工学概論	2	49 春;25 秋;24		
				100 キリスト教学B	2	100 英語リーディングⅠB	1	100 ドイツ語読解Ⅱ	1	100 線形代数Ⅰ	4	100 微分積分Ⅱ	4					100 海外理学プログラムA	1			
						100 英語ライティングⅠA	1	100 フランス語読解Ⅰ	1	100 線形代数Ⅱ	4	100 基礎物理学A	2					100 海外理学プログラムB	2			
						100 英語ライティングⅠB	1	100 フランス語読解Ⅱ	1	100 基礎物理学B	2					100 理学特別プログラム002	2					
						100 英語コミュニケーションⅠA	1	100 ドイツ語文法Ⅰ	1	100 基礎物理学B	2					100 ペンチャー起業家講座	2					
						100 英語コミュニケーションⅠB	1	100 ドイツ語文法Ⅱ	1					100 国内協定大学科目	1～8							
						100 入門英語IA(＊1)	1	100 フランス語文法Ⅰ	1													
						100 入門英語IB(＊2)	1	100 フランス語文法Ⅱ	1													
								100 ラテン語文法	1													
								100 ラテン語読解	1													
								200 英語リーディングⅡA	1	100 哲学	2			200 基礎解析学Ⅰ	2	200 数式処理演習Ⅰ	2					
								200 英語リーディングⅡB	1	100 論理学	2			200 基礎解析学Ⅱ	2	200 数式処理演習Ⅱ	2					
				200 英語ライティングⅡA	1	100 西洋史	2			200 集合と位相	2											
				200 英語ライティングⅡB	1	100 心理学	2			200 確率統計入門	2											
				200 英語コミュニケーションⅡA	1	100 社会学	2			200 応用数理入門	2											
				200 英語コミュニケーションⅡB	1	100 法学	2			200 代数入門	2											
				200 入門英語IIA(＊3)	1	100 日本国憲法	2			200 幾何入門	2											
				200 入門英語IIB(＊4)	1	100 経済学	2			200 関数論入門	2											
						100 科学倫理	2															
						100 サイバー社会入門	2															
						100 芸術と技術	2	300 数理科学概説	2	300 解析学Ⅰ	4	300 統計コンピュータ演習	2			300 理工のためのAI基礎	2	49 春;25 秋;24				
						100 地誌学	2	300 数理科学演習	2	300 解析学Ⅱ	2	300 シミュレーション演習	2			300 科学技術英語A	2					
						100 科学技術と現代社会	2			300 確率統計Ⅰ	2					300 科学技術英語B	2					
										300 確率統計Ⅱ	2					300 特別英語セミナー	2					
										300 応用数理Ⅰ	2											
										300 幾何学Ⅰ	4											
										300 幾何学Ⅱ	4											
										300 代数学Ⅰ	4											
										300 代数学Ⅱ	4											
卒業必要単位数				4		12		16		20		44		4		6		22				
						(*1)、(*2)、(*3)、(*4)は全学科目である。それぞれ2回修得すること。		※理学部・工学部・生命環境学部以外の学部開講科目を算入することができる。 ※卒業に必要な単位数を超えて修得した専門教育科目の単位を4単位迄算入することができる。				※卒業必要単位数を超えて修得した基礎科目、コンピュータ科目、発展科目及び理学部・工学部・生命環境学部開講専門教育科目の単位は、専門選択科目に算入することができる。										
						32						96										
												128										

						専 門 教 育 科 目																					
総 合 教 育 科 目						選 択 必 修 科 目																	他領域科目		専門選択科目		履修制限
キリスト教科目		英語教育科目		総合選択科目		必修科目		情報工学実習科目		知能・機械工学実習・実験科目		数理系基礎科目		数理系発展科目		情報系基礎科目		情報系発展科目									
履修基準年度	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数			
年 4 年	1 2 3 年	100 キリスト数学A	2	100 英語リーディングⅠ A	1	100 ドイツ語読解Ⅰ	1	100 情報工学概論	2			100 微積分Ⅰ	2			100 論理回路	2			100 基礎物理学A	2	100 物理工学演習	2	49 春;25 秋;24			
		100 キリスト数学B	2	100 英語リーディングⅠ B	1	100 ドイツ語読解Ⅱ	1	100 知能・機械工学概論	2			100 微積分Ⅱ	2			100 コンピューターアーキテクチャ	2			100 基礎物理学B	2	100 材料力学Ⅰ	2				
				100 英語ライティングⅠ A	1	100 フランス語読解Ⅰ	1	100 人工知能基礎	2			100 線形代数Ⅰ	2			100 ネットワーク	2			100 生命科学Ⅰ	2						
				100 英語ライティングⅠ B	1	100 フランス語読解Ⅱ	1	100 コンピュータ演習A	2			100 線形代数Ⅱ	2			100 キャリアデザイン論	2			100 生命科学Ⅱ	2						
				100 英語コミュニケーションⅠ A	1	100 ドイツ語文法Ⅰ	1	100 プログラミング実習Ⅰ	2			100 離散数理論	2							100 デモンストレーション物理学Ⅰ	2						
				100 英語コミュニケーションⅠ B	1	100 ドイツ語文法Ⅱ	1													100 海外工学プログラムA	1						
				100 入門英語Ⅰ A(※1)	1	100 フランス語文法Ⅰ	1													100 海外工学プログラムB	2						
				100 入門英語Ⅰ B(※2)	1	100 フランス語文法Ⅱ	1													100 工学特別プログラム002	2						
年 4 年	1 2 3 年			100 ラテン語文法	1	100 ラテン語読解	1												100 情報化社会と人間	2							
				100 哲学	2														100 メディア社会論	2							
				200 英語リーディングⅡ A	1	100 論理学	2	200 プログラミング実習Ⅱ	2			200 工学のための確率と統計	2	200 数理論理学	2	200 データ構造とアルゴリズム	2	200 センシングと情報表現	2	200 基礎物理学実験Ⅰ	2	200 制御工学	2				
				200 英語リーディングⅡ B	1	100 西洋史	2	200 プログラミング実習Ⅲ	2			200 情報工学のための数字演習Ⅰ	2	200 機械学習Ⅰ	2	200 データベース	2	200 オペレーティングシステム	2	200 デモンストレーション物理学Ⅱ	2	200 システムと信号	2				
				200 英語ライティングⅡ A	1	100 心理学	2			200 情報工学のための数字演習Ⅱ	2			200 形式言語とオートマトン	2			200 電気電子回路基礎	2	200 機械基礎実験	2	200 システムと信号	2				
				200 英語ライティングⅡ B	1	100 社会学	2			200 グラフ・ネットワーク理論	2			200 グラフ・ネットワーク理論	2			200 固体電子論	2	200 工学のための解析学Ⅰ	2	200 機械学習Ⅱ	2				
				200 英語コミュニケーションⅡ A	1	100 法学	2			200 情報理論	2					200 メディア工学基礎	2			200 工学のための解析学Ⅱ	2	200 機械力学Ⅰ	2				
				200 英語コミュニケーションⅡ B	1	100 日本国憲法	2			200 データサイエンス	2									200 工学のための解析学Ⅱ	2	200 機械力学Ⅱ	2				
年 4 年	1 2 3 年			200 入門英語Ⅱ A(※3)	1	100 経済学	2												200 機構学	2	200 材料力学Ⅱ	2		49 春;25 秋;24			
				200 入門英語Ⅱ B(※4)	1	100 科学倫理	2												200 サイバー社会入門	2							
						100 芸術と技術	2																				
						100 地誌学	2	300 情報工学領域実習A	1	300 数理計画法実習	1	300 認知情報処理実験	1			300 情報処理技術演習	2	300 コンパイラ	2	300 科学技術英語A	2	300 認知情報処理	2				
				100 科学技術と現代社会	2	300 情報工学領域実習B	1	300 知識情報処理実習	1	300 機械学習実験	1	300 画像情報処理実習	1			300 ディジタル通信	2	300 科学技術英語B	2	300 パーシャルリリティ	2	300 バイオインフォマティクス	2				
						300 情報理論実習	1	300 画像情報処理実習	1	300 深層学習実習	1	300 感性情報処理実習	1														

生命環境学部 生物科学科 教育課程表(2021年度以降入学生用)

[illegible]

〈学則別表〉 建築学部教育課程表

注① ●は必修科目、○は選択必修科目。
注② 科目名の前の数字はナンバリング、後ろの数字は単位数。

科目区分			学年		第 1 学年度以上				第 2 学年度以上				第 3 学年度以上				第 4 学年度以上		卒業必要単位数																																						
総合 教育 科目	キリスト教科目		●100	キリスト教学 A	2	●100	キリスト教学 B	2									4		32	※他学部 および 全学開講 科目を 8単位 まで算入 すること ができる																																					
	言語 教育 科目	英語教育科目	●100	英語リーディングⅠ A	1	●100	英語リーディングⅠ B	1	●200	英語リーディングⅡ A	1	●200	英語リーディングⅡ B	1			12																																								
			●100	英語ライティングⅠ A	1	●100	英語ライティングⅠ B	1	●200	英語ライティングⅡ A	1	●200	英語ライティングⅡ B	1																																											
			●100	英語コミュニケーションⅠ A	1	●100	英語コミュニケーションⅠ B	1	●200	英語コミュニケーションⅡ A	1	●200	英語コミュニケーションⅡ B	1																																											
総合選択科目			100	フランス語Ⅰ	2	100	フランス語Ⅱ	2	200	フランス語Ⅲ	2	200	フランス語Ⅳ	2					16 ※他学部 および 全学開講 科目を 8単位 まで算入 すること ができる																																						
			100	ドイツ語Ⅰ	2	100	ドイツ語Ⅱ	2	200	ドイツ語Ⅲ	2	200	ドイツ語Ⅳ	2																																											
			100	スペイン語Ⅰ	2	100	スペイン語Ⅱ	2	200	スペイン語Ⅲ	2	200	スペイン語Ⅳ	2																																											
			100	中国語Ⅰ	2	100	中国語Ⅱ	2	200	中国語Ⅲ	2	200	中国語Ⅳ	2																																											
			100	哲学概論	2	100	西洋史概説	2	200	比較宗教思想論	2																																														
			100	心理学概論	2	100	東洋史概説	2																																																	
			100	論理学	2	100	民族と文化	2																																																	
			100	日本国憲法	2	100	地誌学	2																																																	
			100	地理学概論	2	100	科学倫理	2																																																	
			100	メディア社会論	2	100	美学概論	2																																																	
			100	芸術学概論	2	100	アート&テクノロジー	2																																																	
			100	環境倫理	2	100	科学技術と現代社会	2																																																	
			100	日本史概説	2	100	建築学国際プログラム	2～4																																																	
専門 教育 科目	専門科目基礎		●100	微積分学Ⅰ	2	100	微積分学Ⅱ	2									8			128	96																																				
			●100	線形代数学Ⅰ	2	100	線形代数学Ⅱ	2																																																	
			100	統計学	2	100	建築基礎物理	2																																																	
						100	データ解析	2																																																	
	建築・都市デザイン専門科目	総合基礎	●100	建築・都市デザイン概論	2																																																				
		建築設計	●100	建築表現演習Ⅰ	2	●100	建築表現演習Ⅱ	2	●200	建築設計演習Ⅰ	2	●200	建築設計演習Ⅱ	2	●300	建築設計演習Ⅲ	2	●300	建築設計演習Ⅳ			2	400	建築設計演習Ⅴ	2																																
						●100	現代建築デザイン論	2	●200	建築設計手法論	2																																														
		建築計画						●200	建築計画 A	2	●200	建築計画 B	2	300	建築・都市類型論	2																																									
										200	福祉環境計画	2																																													
		歴史						●200	日本建築史	2	●200	西洋建築史	2	300	近代建築史	2	300	アジア建築史	2																																						
		環境・設備										●300	建築環境工学	2	●300	建築設備	2																																								
		構造						●200	建築構造力学Ⅰ	2	●200	建築構造力学Ⅱ	2	200	建築構造デザイン	2																																									
								●200	建築一般構造Ⅰ	2	●200	建築一般構造Ⅱ	2	●300	建築施工	2																																									
		構法・生産						●200	建築材料学	2	●200	建築材料学実験	1																																												
		材料																																																							
		法規												●300	建築法規	2																																									
	都市・地域				100	ランドスケープデザイン	2	200	都市デザイン論	2	●200	都市・農村計画	2	300	コミュニティデザイン	2	300	都市解析	2																																						
									200	住宅政策論	2					300	都市再生論	2	300			地域再生論	2	300	海外開発協力論	2																															
	都市政策														300	都市防災論	2	300	交通政策論			2																																			
都市文化	100	比較都市論	2	100	都市社会学	2	200	都市生態学	2	200	都市人類学	2																																													
建築・都市デザイン基礎演習				●100	デジタル表現演習Ⅰ	2	●200	デジタル表現演習Ⅱ	2	200	BIM 演習	2	300	建築プログラミング演習	2	300	GIS 演習	2																																							
								200	建築・都市演習	2					300	測量実習	1																																								
建築・都市デザイン応用演習														○300	建築デザイン演習	2	○300	建築設計手法演習	2	○300	アーバンスケープデザイン演習	2	○300	建築計画演習	2	○300	福祉環境計画演習	2	○300	建築史・都市史演習	2	○300	建築生産演習	2	○300	環境設備計画演習	2	○300	建築耐震構造演習	2	○300	建築構造デザイン演習	2	○300	都市デザイン演習	2	○300	コミュニティデザイン演習	2	○300	まちづくり演習	2	○300	都市防災演習	2	2	
卒業演習・卒業研究																		●400	建築学演習	4	●400	卒業研究	4	8																																	
学校図書館司書教諭課程関連科目													300	学習指導と学校図書館	2	300	学校経営と学校図書館	2	300	学校図書館メディアの構成	2	300	情報メディアの活用	2	300	読書と豊かな人間性	2			履修単位数制限 の対象外 卒業必要単位に 算入不可																											
国際バカロレア教員養成プログラム関連科目					100	IB 概論	2	200	IB 教育方法論・評価論Ⅰ	2	200	IB 教育方法論・評価論Ⅱ	2	300		IB 教育実践研究	2																																								

〈学則別表〉 全学科目

履修基準年度	言語教育科目				スポーツ科学・健康科学科目				情報科学科目		AI 活用人材育成科目		グローバルスタディーズ科目				ライフデザイン科目		基盤・学際科目	
第1学 年度 以上	250 Skills-based English 1または2	100	ポルトガル語初級Ⅰ	Ⅰ	100 スポーツ科学講義A	2	100 健康科学演習A	2	100 コンピュータ基礎	2	100 AI 活用入門	2	300 Language and Communication	2	100 海外異文化体験セミナー	Ⅰ	□100 ライフ・キャリア概論	2	100 「関学」学	2
	150 Special English Seminar	Ⅰ	100 ポルトガル語初級Ⅱ	Ⅰ	100 スポーツ科学講義B	2	100 健康科学演習B	2	150 コンピュータ実践	2	150 AI 活用アプリケーションデザイン入門	2	300 Culture and Society	2	100 グローバル PBL 1または2	Ⅰ	□100 ライフデザインと仕事A	2	100 災害復興学A	2
	100 基礎フランス語Ⅰ	Ⅰ	150 ポルトガル語初中級	Ⅰ	100 スポーツ科学講義C	2	100 健康科学演習C	2	150 プログラミング言語基礎	2	150 デザイン入門	2	300 Academic Writing and Presentation	2	100 カナダ研究入門A	2	□100 ライフデザインと仕事B	2	100 災害復興学B	2
	100 基礎フランス語Ⅱ	Ⅰ	100 アラビア語初級Ⅰ	Ⅰ	100 スポーツ科学講義D	2	100 健康科学演習D	2			150 AI 活用データサイエンス入門	2	300 Project-based Seminar in English	2	100 カナダ研究入門B	2	□100 ライフ・キャリア入門演習	2	100 人権教育科目	2または4
	100 基礎フランス語Ⅲ	Ⅰ	100 アラビア語初級Ⅱ	Ⅰ	100 健康科学講義A	2	100 健康科学演習E	2			□200 AI 活用実践演習A (Java による Web アプリケーションデザイン)	2	300 Topics in Canadian Studies A	2	□150 ライフ・キャリア実践演習	2	□100 平和学「広島・長崎講座」	2		
	100 基礎フランス語Ⅳ	Ⅰ	150 アラビア語初中級	Ⅰ	100 健康科学講義B	2	100 体育方法学演習A	2			200 AI 活用 Web アプリケーションプログラミング演習	2	150 海外学習活動(ドイツ)	2	300 Topics in Canadian Studies B	2	□250 ライフ・キャリアリーダーシップ実習	2	100 平和学特別演習「ヒロシマ」	2
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)A	Ⅰ	100 基礎中国語Ⅰ	Ⅰ	100 健康科学講義C	2	100 体育方法学演習B	2			□200 AI 活用 Web アプリケーションプログラミング演習	2	200 English for Cross-Cultural Studies A	2	300 Topics in Canadian Studies C	2	□250 インターンシップ実習 1または2	Ⅰ	100 総合コース	2または4
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)B	Ⅰ	100 基礎中国語Ⅱ	Ⅰ	100 体育方法学講義A	2	100 体育方法学演習C	2			200 AI 活用 Web アプリケーションプログラミング演習	2	200 English for Cross-Cultural Studies B	2	100 Topics in Canadian Studies D	2	100 KG キャリア入門	2	100 スタディスキルセミナー	2
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)C	Ⅰ	150 基礎中国語Ⅲ	Ⅰ	100 体育方法学講義B	2	100 余暇生活学演習A	2			□200 AI 活用実践演習B (Python による機械学習・深層学習)	2	100 北欧研究入門	2	100 留學とキャリア設計	2	100 ライフデザインと仕事	2	200 スタディスキルセミナー	2
	150 フランス語アラカルト(聞く・話す)A	Ⅰ	150 基礎中国語Ⅳ	Ⅰ	100 体育方法学講義C	2	100 余暇生活学演習B	2			200 AI 活用機械学習プログラミング演習	2	100 グローバルスタディーズ入門	2	300 International Scholar's Topics A	2	200 キャリアゼミ	2	100 寄附講座	2または4
	100 基礎ドイツ語Ⅰ	Ⅰ	200 中国語中級	Ⅰ	100 余暇生活学講義A	2	100 余暇生活学演習C	2			□200 AI 活用実践演習C (Web デザイン)	2	150 海外フィールドワーク	2	300 International Scholar's Topics B	2	□200 キャリアゼミA	2	100 連携講座	1～4
	100 基礎ドイツ語Ⅱ	Ⅰ	100 朝鮮語初級Ⅰ	Ⅰ	100 余暇生活学講義B	2	100 余暇生活学演習D	2			200 AI 活用 UX/UI デザインプログラミング演習	2	200 国際情報分析	2	300 International Scholar's Topics A	2	□250 キャリアゼミB	2	100 社会探究入門	2
	100 基礎ドイツ語Ⅲ	Ⅰ	100 朝鮮語初級Ⅱ	Ⅰ	100 スポーツ科学演習A	2	100 余暇生活学演習E	2			□200 AI 活用実践演習C (Web デザイン)	2	300 国際平和構築論	2	300 International Scholar's Topics B	2	□250 キャリアゼミC	2	100 社会探究リサーチ・ベーシックA	2
	100 基礎ドイツ語Ⅳ	Ⅰ	200 朝鮮語中級	Ⅰ	100 スポーツ科学演習B	2	100 余暇生活学演習F	2			200 AI 活用 UX/UI デザインプログラミング演習	2	200 教育開発論	2	200 短期海外インターンシップ	4	150 霞が関セミナー	2	□100 社会探究リサーチ・ベーシックB	2
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)A	Ⅰ	100 インドネシア語初級Ⅰ	Ⅰ	100 スポーツ科学演習C	2							300 国際ボランティアゼミⅠ	2	100 留學とキャリア設計	2			150 社会探究実習Ⅰ	2
	150 ドイツ語アラカルト(聞く・話す)B	Ⅰ	100 インドネシア語初級Ⅱ	Ⅰ	100 スポーツ科学演習D	2							100 世界市民論	2	200 CCC Introduction to Multicultural Studies	2			200 社会探究実習Ⅱ	2
	100 ロシア語初級Ⅰ	Ⅰ	100 インドネシア語初中級	Ⅰ	100 スポーツ科学演習E	2							150 グローバルゼミA	2	200 CCC Introduction to International Relations	2			ハンズオン・インターンシップⅠ	6
	100 ロシア語初級Ⅱ	Ⅰ	100 日本手話初級Ⅰ	Ⅰ	100 スポーツ科学演習F	2							100 国際ボランティアゼミⅡ	2	200 CCC Cross-Cultural Workshop	3			ハンズオン・アドバンストⅠ	2
	150 ロシア語初中級	Ⅰ	100 日本手話初級Ⅱ	Ⅰ									100 グローバル社会の課題と持続可能な未来	2	200 日本語教育基礎	2			ハンズオン・アドバンストⅡ	2
	100 イタリア語初級Ⅰ	Ⅰ											100 日本企業文化論	2	300 日本語教育基礎演習	2			100 他大学単位互換科目	1または2
	100 イタリア語初級Ⅱ	Ⅰ											200 インドネシア交流セミナーA	2	150 国連・外交フィールドワーク	2				
	150 イタリア語初中級	Ⅰ											200 インドネシア交流セミナーB	2	150 国際教養としての時事問題	Ⅰ				
	100 スペイン語初級Ⅰ	Ⅰ											200 トルコ交流セミナーA	2						
	100 スペイン語初級Ⅱ	Ⅰ											200 トルコ交流セミナーB	2						
	150 スペイン語初級Ⅲ	Ⅰ																		
	200 スペイン語中級	Ⅰ																		
第2学 年度 以上	□200 英語中期留学	200	英語中期留学マラヤ大学Ⅰ	3					200 プログラミング言語応用	2	250 AI 活用アプリケーションデザイン実践演習	2	350 国連ユースボランティア実習 4または8または12	3	300 CCC Joint Seminar in Japan	3	□200 ライフ・キャリア発展演習	2	100 総合コース	2または4
	マウント・アリソン大学Ⅰ	5	200 英語中期留学マラヤ大学Ⅱ	3							250 AI 活用データサイエンス実践演習	2	300 CCC Joint Seminar in Canada	3	300 CCC Joint Seminar in Canada	3			100 連携講座	1～4
	200 英語中期留学	200	英語中期留学マラヤ大学Ⅲ	3							300 AI 活用発展演習Ⅰ	2	350 国連ユースボランティア課題研究	4	300 CCC Global Internship in Japan	3			100 コンソーシアムひょうご神戸講座	1または2
	マウント・アリソン大学Ⅰ	4	200 英語中期留学ソノマ州立大学Ⅰ	7									350 国際社会貢献実習	12	300 CCC Global Internship in Canada	3			250 ハンズオン・アドバンストⅠ	2
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ソノマ州立大学Ⅱ	7									350 国際社会貢献課題研究	4	300 CCC Field Study in Canadian Business	3			250 ハンズオン・アドバンストⅡ	2
	マウント・アリソン大学Ⅱ	4	200 英語中期留学レスター大学Ⅰ	3									300 プロジェクトマネジメントⅡ	2	300 CCC Global Career Seminar in Japan	3			100 他大学単位互換科目	1または2
	200 英語中期留学	200	英語中期留学レスター大学Ⅱ	9									350 プロジェクトマネジメントⅢ	2	300 CCC Global Career Seminar in Canada	3				
	マウント・アリソン大学Ⅲ	4	200 英語中期留学ワイカト大学Ⅰ	5									300 International Politics and Economy A	2	300 CCC Global Career Seminar in Japan	3				
	200 英語中期留学クイーンズ大学Ⅰ	3	200 英語中期留学ワイカト大学Ⅱ	5									300 International Politics and Economy B	2	◆200 国連・外交入門(開発)	2				
	200 英語中期留学クイーンズ大学Ⅱ	5	200 英語中期留学ワイカト大学Ⅲ	5									200 国際ボランティアゼミⅡ	2	◆200 国連・外交入門(平和・人権・人道)	2				
	200 英語中期留学クイーンズ大学Ⅲ	5	200 英語中期留学ワイカト大学Ⅳ	5									200 カナダ研究マウント・アリソン大学	3	200 国連セミナー	2または4				
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅴ	5									200 カナダ研究トロント大学	3						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅵ	5									200 マレー文化研究	5						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅶ	5									200 タイ文化社会研究	2						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅷ	5									200 海外社会体験実習(オーストラリア)	5または6						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅸ	5									200 インターンシップ準備演習(オーストラリア)	3または4						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅹ	5									200 海外社会体験実習(マレーシア)	4						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅺ	5									200 海外社会体験実習(タイ)	Ⅰ						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅻ	5									200 海外社会体験実習(ハワイ)	2						
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅼ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅽ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅾ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学Ⅿ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅰ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅱ	5																
	200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅲ	5																
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅴ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅵ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅷ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅸ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅹ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅺ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅻ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅼ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅽ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅾ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	
200 英語中期留学	200	英語中期留学ワイカト大学ⅿ	5																	

□：今後開講されない科目

■：MS 国連・外交プログラム履修許可者および CIEC 開講国際ボランティア 2 プログラム派遣者のみ履修可

◆：MS 国連・外交プログラム履修許可者のみ履修可

1. 科目名後の数字は単位数

2. 年度によって開講されない科目があるので注意すること。

大学等名	関西学院大学	申請レベル	リテラシーレベル
教育プログラム名	AI活用人材育成プログラム（プラクティショナーコース）	申請年度	令和3年度

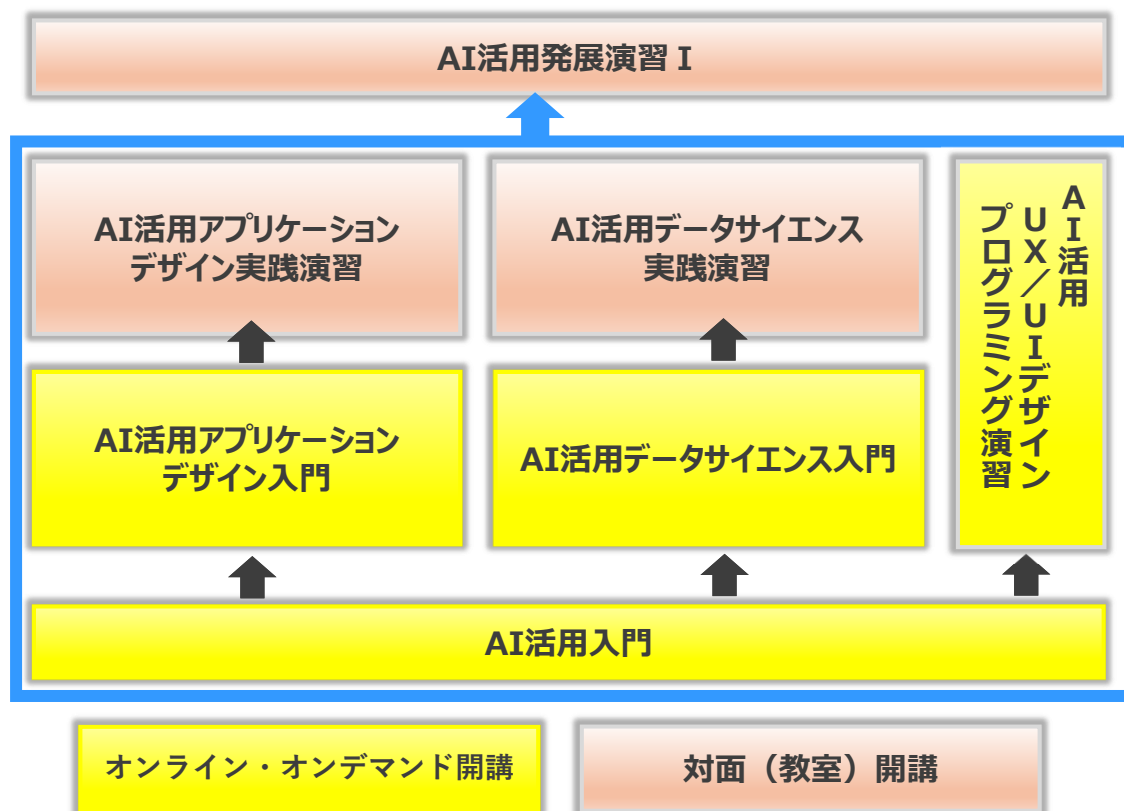
取組概要

AI活用人材とは、文系・理系関係なく、AIやデータサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の**ビジネス課題・社会課題を解決する能力**を有する人材である。

AI活用人材育成プログラム（プラクティショナーコース）は、全7科目14単位で構成し、初学者から段階的かつ多型的に学習できるカリキュラムとしている。

最初に履修を義務付ける「AI活用入門」では、AIの歴史や技術、ツール等の基礎知識を身に着ける。

※矢印はすべて先修条件を示しています。



「AI活用データサイエンス入門」では、統計の知識・技術に加え、活用事例を学ぶとともに、「AI活用データサイエンス実践演習」では、Rを活用した実際のデータ分析・処理を学ぶ。「AI活用アプリケーションデザイン入門」では、画像認識や音声処理等の知識を学ぶとともに、「AI活用アプリケーションデザイン実践演習」にて、チャットボット等アプリ開発を行う。

「AI活用UX/UIデザインプログラミング演習」では、ユーザーインターフェースに関する基礎技術とデザイン思考を学ぶ。

「AI活用発展演習 I」では、6科目で培った知識・スキルを活かして、企業や自治体の課題を元に、AIを活用したソリューション提言までを行う。

全学AI活用人材教育部会が、毎年点検して、内容のバージョンアップを行う。